

ミドルシニア／シニア層の就労者実態調査（2021年）

■調査概要

調査対象

現在、就労している40代～70代男女

調査期間

2021年7月8日（木）～2021年7月12日（月）

調査方法

外部パネルによるWEBアンケート調査

有効回答数

1,500名

※調査結果は、端数四捨五入の都合により合計が100%にならない場合があります。



本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 社長室 HRリサーチ統括部 E-mail : myrm@mynavi.jp

■INDEX

(1) 回答者プロフィール

性年代／居住エリア／同居家族／定年退職経験／扶養家族有無／扶養家族の構成／利用SNS

(2) 就業実態

雇用形態／正社員希望理由／非正社員希望理由／職種／勤務期間／勤務日数／勤務曜日／勤務時間／通勤時間／
手取り月収／世帯収入／就労継続年齢

(3) 仕事探しに関する意識

就労目的／直近の仕事探し状況／仕事探しに利用したデバイス／仕事探しをした場所／仕事探した日数／
面接時のアピールポイント／仕事探しの重視条件／求人サイトの応募方法／現職場入社の決め手／
新しく仕事を始める際に不安なこと／収入減少の許容／許容できる減少額／新しく仕事を始める際に妥協できること

(4) 現在の職場への意識

現職場への意識／やりがい／職場の実態／理想の上司像

(5) 早期離職の実態と意識

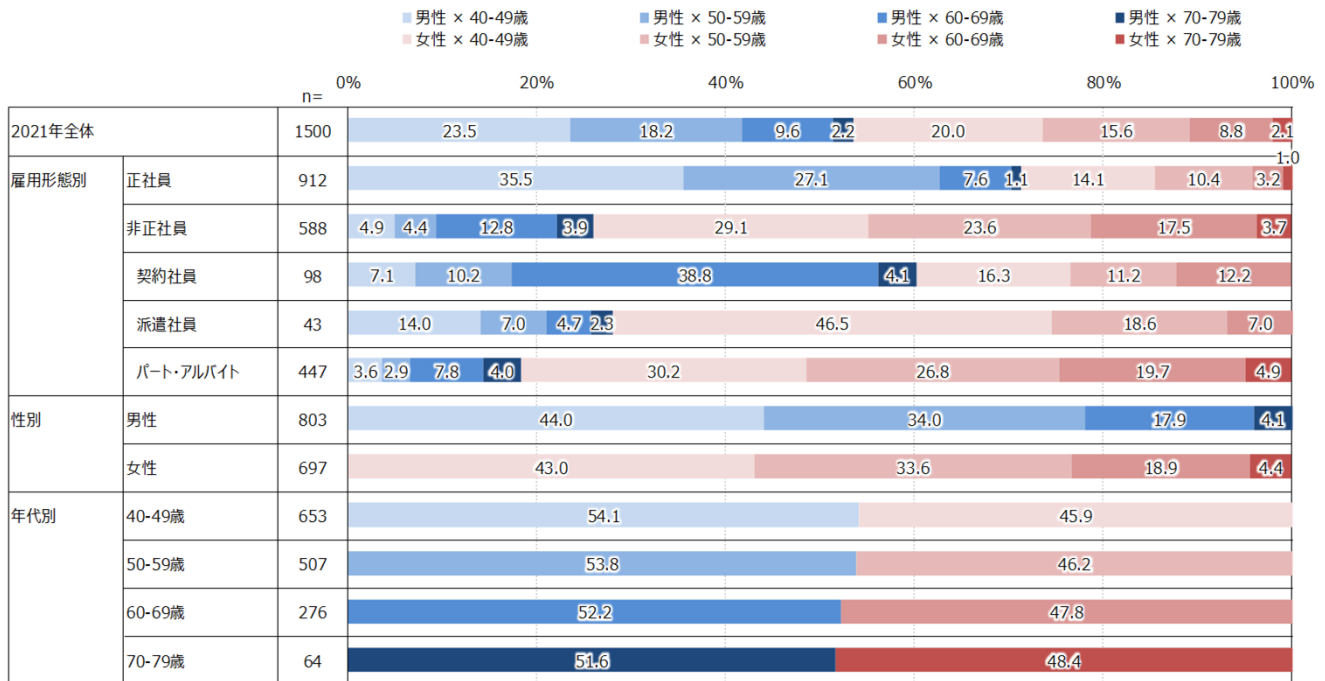
早期離職経験／早期離職時期／要因

(6) 回収数について

(1) 回答者プロフィール

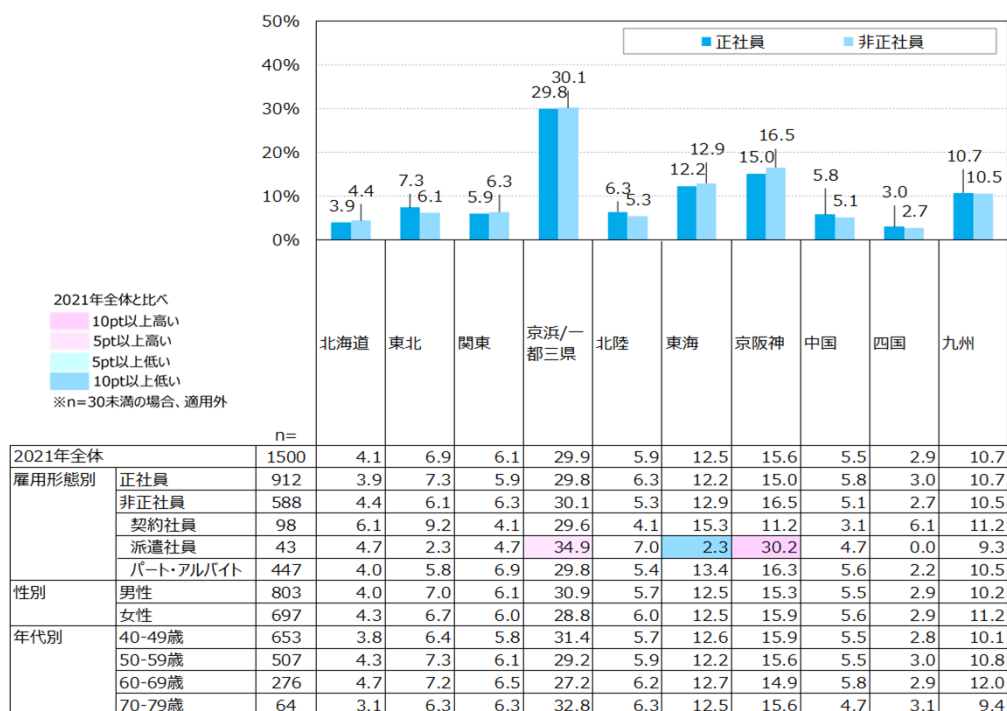
性年代（単一回答）

- ・本調査は就労者の実構成比に合わせて回収しているため、全体および正社員/非正社員での性年代別構成は就労者人口の構成と同じである。
- ・全体では「男性40-49歳」が最も高く、次いで「女性40-49歳」となっている。
- ・正社員では「男性40-49歳」「男性50-59歳」の順に高く、非正社員では「女性40-49歳」「女性50-59歳」の順に高い。



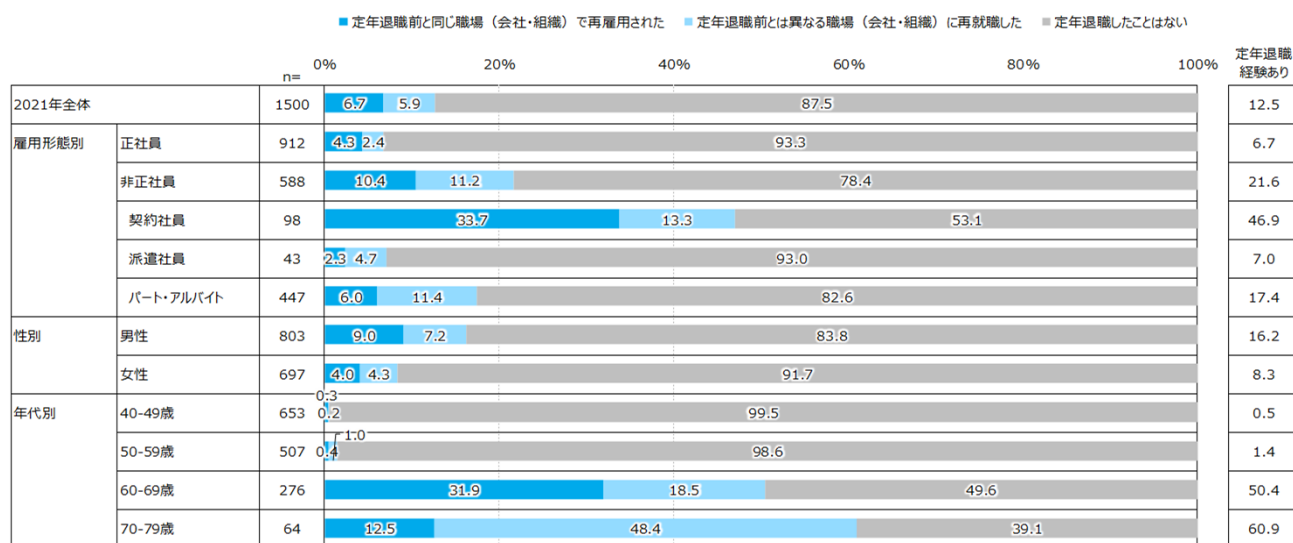
居住エリア（単一回答）

- ・居住エリアについても実際の就労人口の構成に合わせて回収しているため、性年代別構成と同様である。
- ・全体では「京浜/一都三県」が最も高く、次いで「京阪神」が高い。
- ・正社員、非正社員においても全体と同様に「京浜/一都三県」「京阪神」の順に高い。



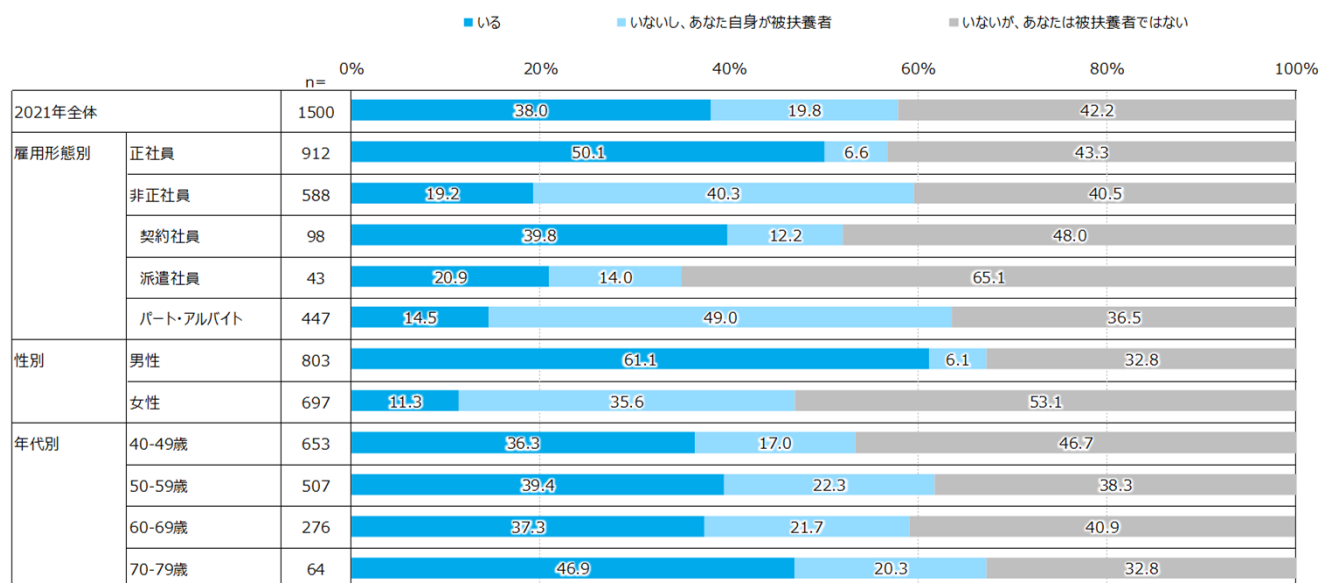
定年退職経験（単一回答）

- ・定年退職経験ありと回答したのが全体の12.5%、正社員では6.7%、非正社員では21.6%となっている。
- ・定年退職経験があると回答した層では、「定年退職前と同じ職場で再雇用された」が「定年退職前とは異なる職場に再就職した」をわずかに上回っているものの僅差である。



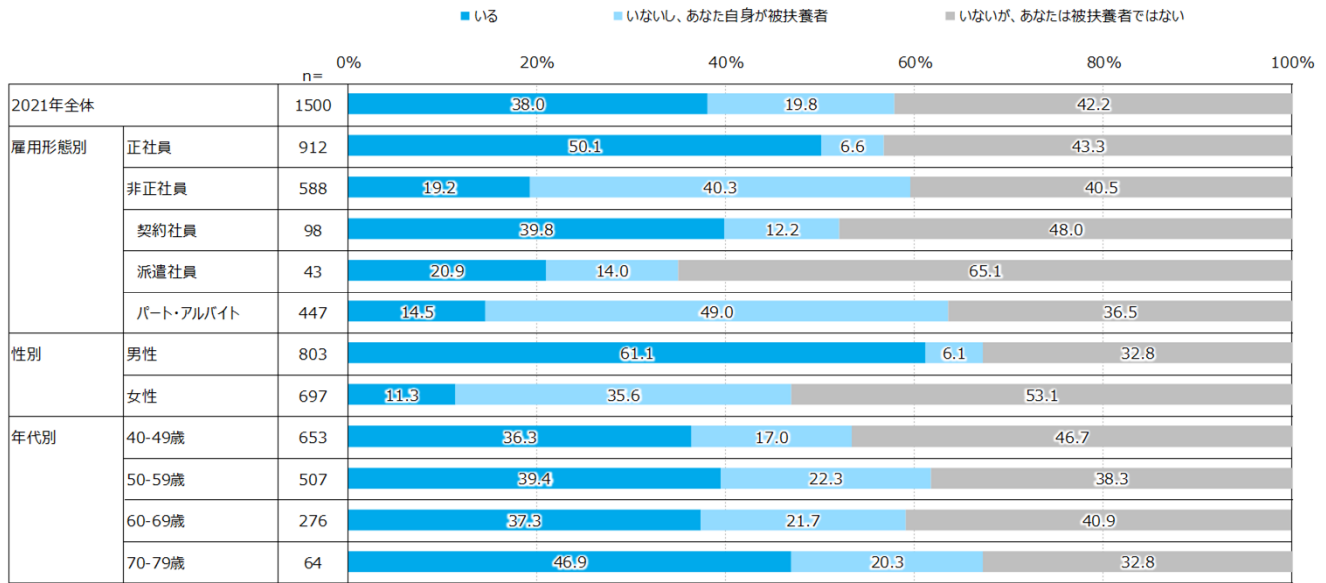
扶養家族有無（単一回答）

- ・扶養家族がいると回答した層は全体の38.0%で、正社員では50.1%、非正社員では19.2%である。



扶養家族の有無（単一回答）

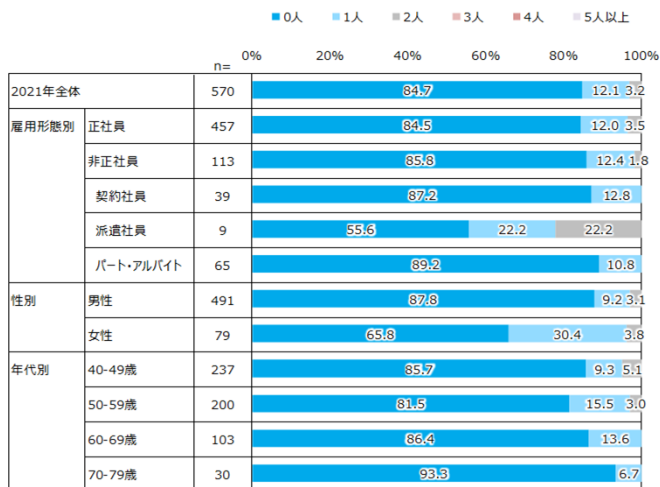
・扶養家族がいると回答した層は全体の38.0%で、正社員では50.1%、非正社員では19.2%である。



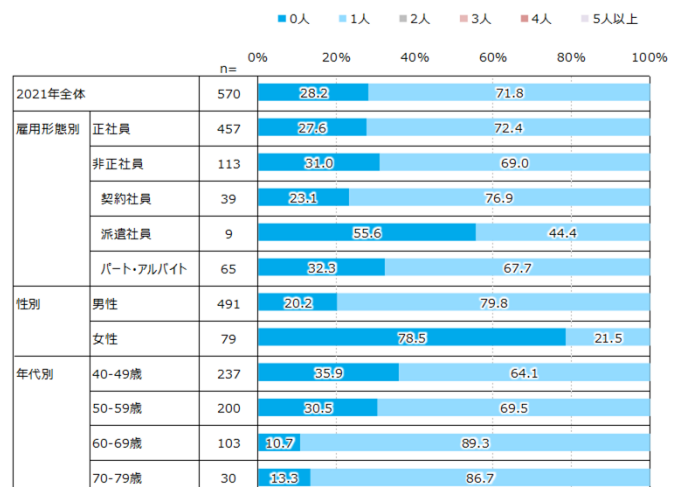
扶養家族の構成（単一回答）

・扶養家族がいると回答した層は全体の38.0%で、正社員では50.1%、非正社員では19.2%である。

■ 親



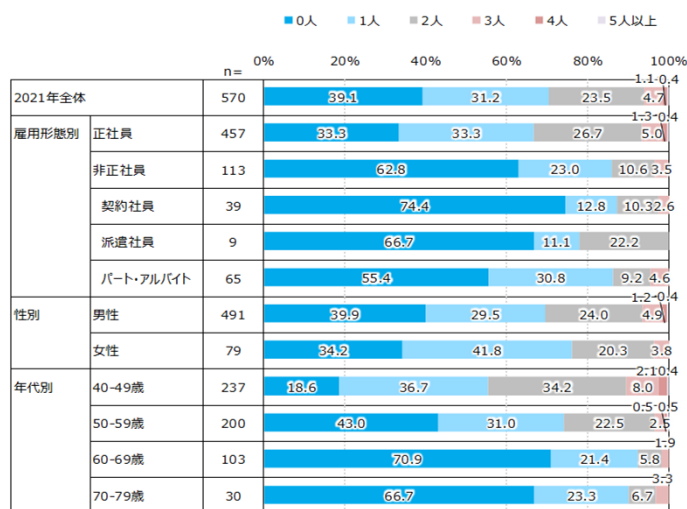
■ 配偶者



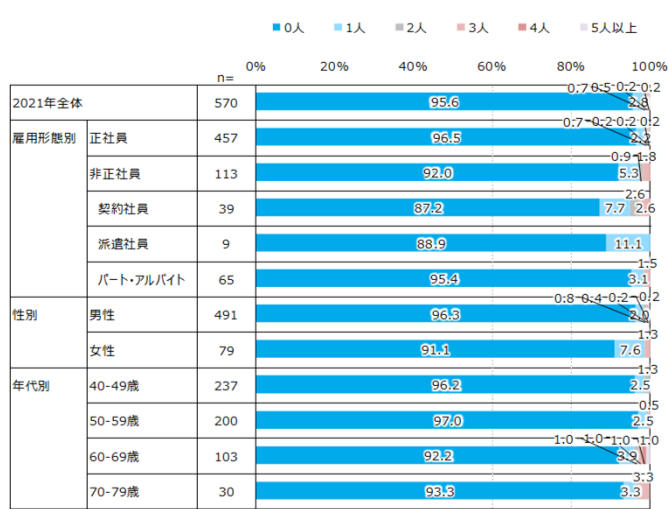
扶養家族の構成（単一回答）

- ・前頁と同様に扶養家族に子どもが含まれているのは扶養家族がいると回答した層の60.9%で、60-69歳で29.1%、70-79歳でも33.3%とシニア世代でも子どもが扶養家族に含まれる場合が多くあるようだ。
- ・親・配偶者・子ども以外の扶養家族がいると回答したのは4.4%である。

■子ども



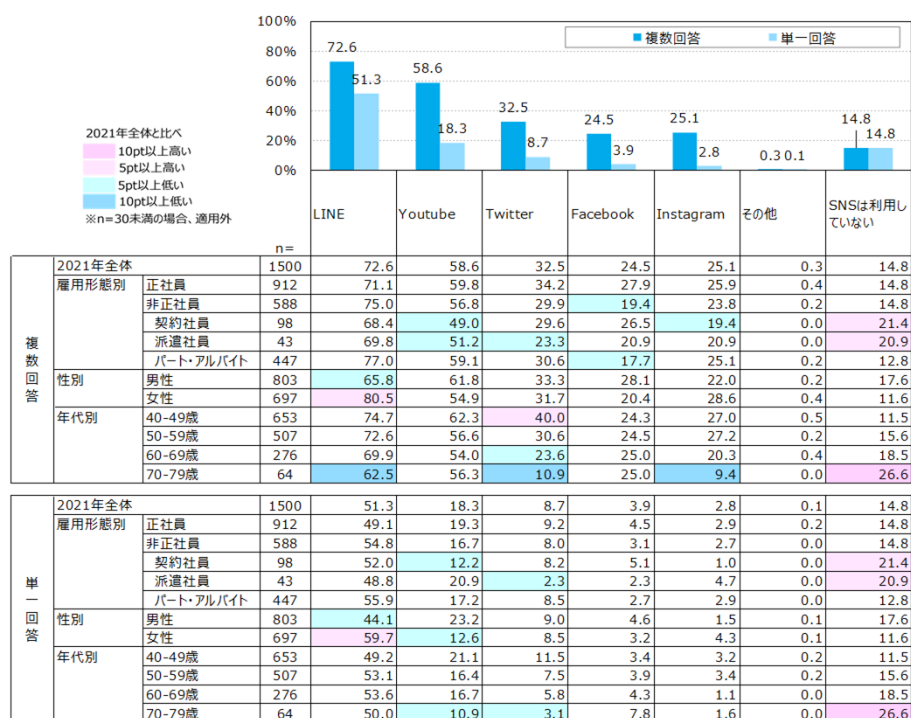
■その他



利用SNS

普段利用しているもの（複数回答）／最も利用しているもの（単一回答）

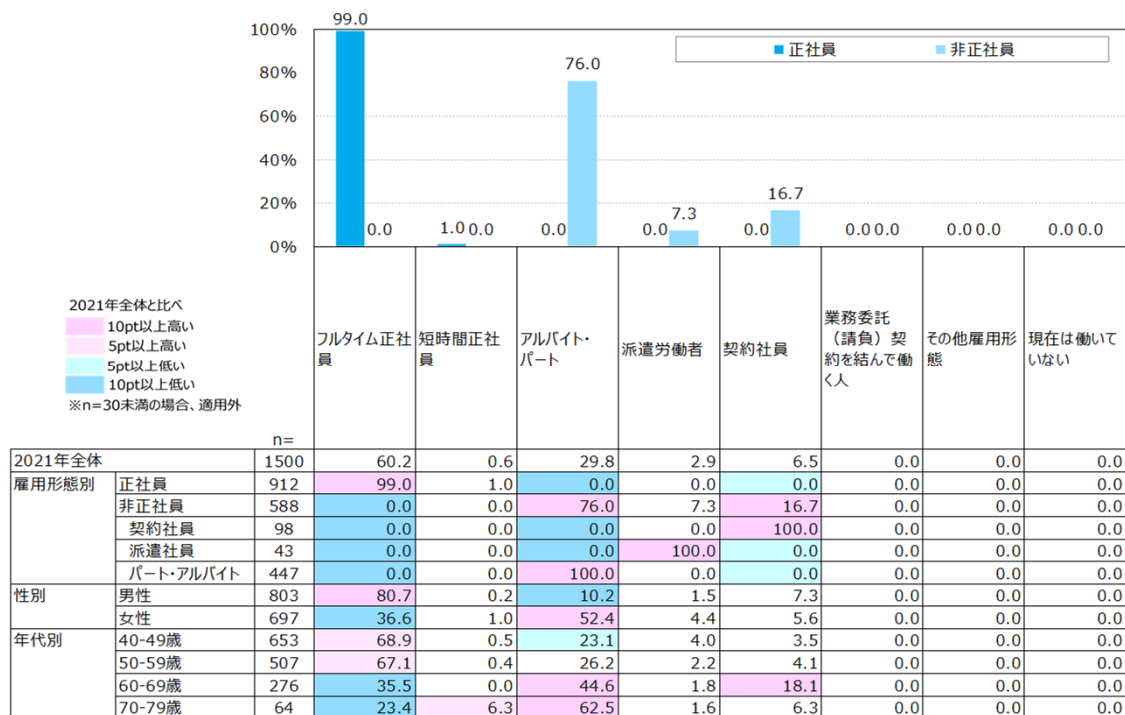
- ・前頁と同様に扶養家族に子どもが含まれているのは扶養家族がいると回答した層の60.9%で、60-69歳で29.1%、70-79歳でも33.3%とシニア世代でも子どもが扶養家族に含まれる場合が多くあるようだ。
- ・親・配偶者・子ども以外の扶養家族がいると回答したのは4.4%である。



(2)就労実態

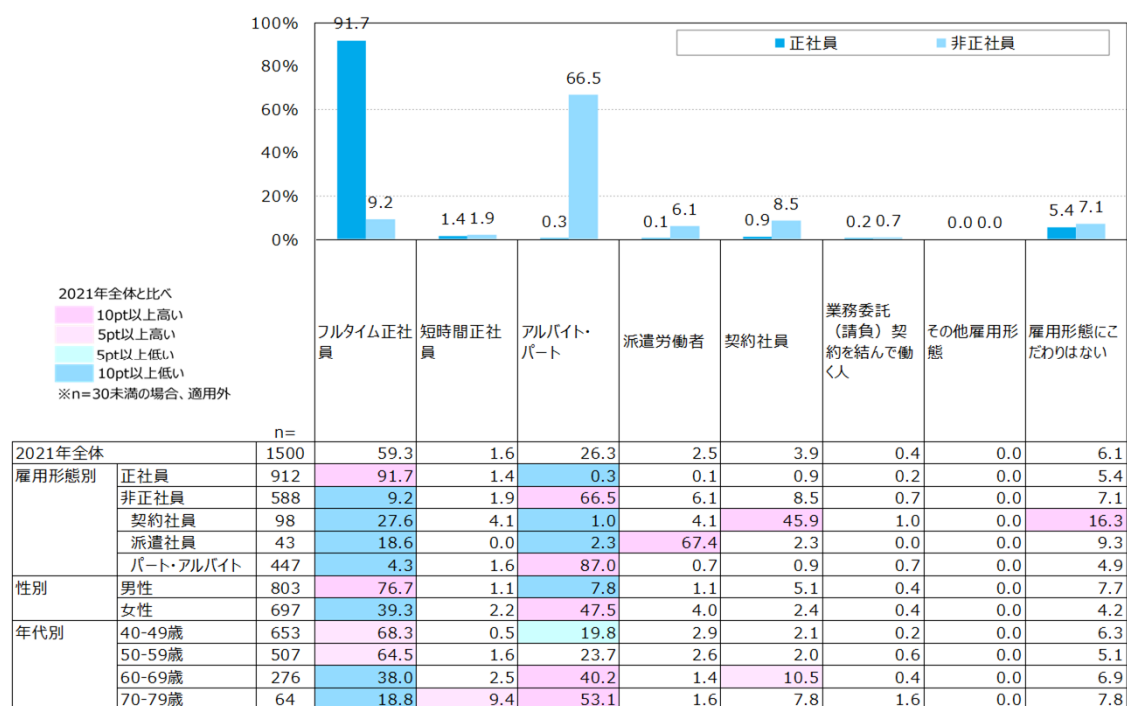
現在の雇用形態（単一回答）

- ・正社員が全体の約6割、非正社員が約4割となっている。
- ・正社員のうち、「フルタイム正社員」が99%を占め、非正社員では「アルバイト・パート」が最も高く、次いで「契約社員」「派遣労働者」の順である。



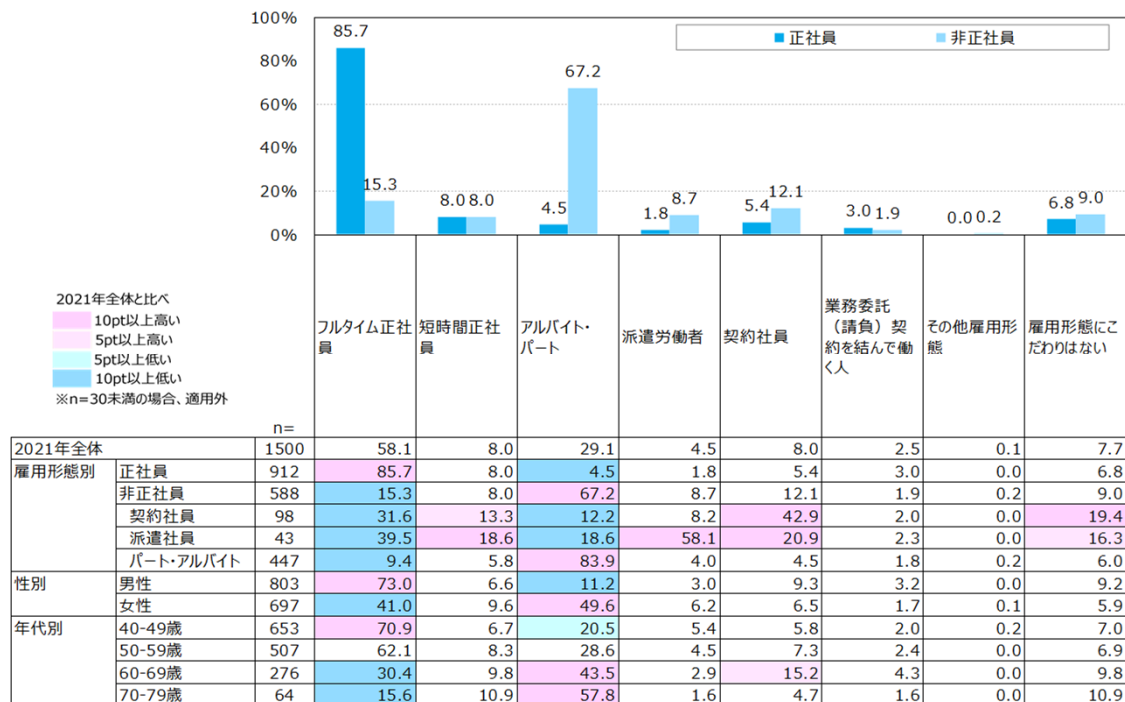
希望する雇用形態（現在）（単一回答）

- ・正社員のうち、本来的に「フルタイム正社員」を希望しているのは約9割。
- ・非正社員では7割近くが「アルバイト・パート」を希望しており、「正社員」を希望しているのは1割程度である。
- ・年代別にみると高齢層ほど「フルタイム正社員」を希望する割合は低くなり60-69歳で38.0%、70-79歳では18.8%となっている。



希望する雇用形態（今後）（複数回答）

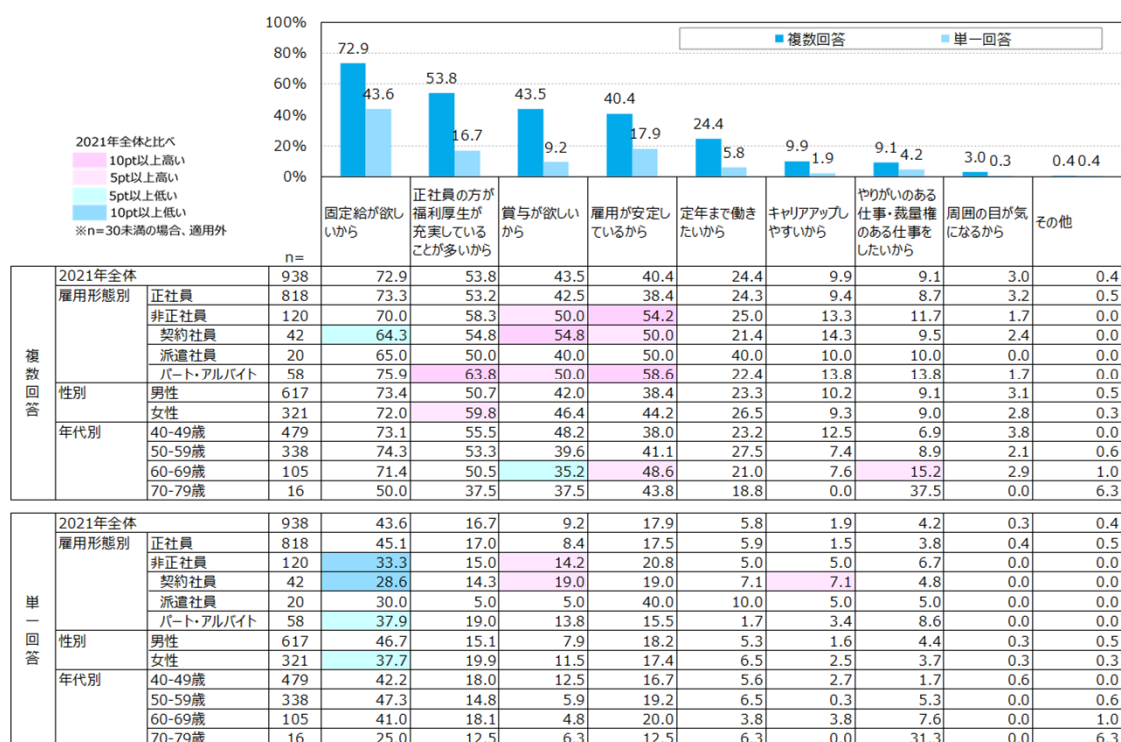
- ・今後については、正社員のうち今後「フルタイム正社員」を希望しているのは9割弱で現在の本来的な希望よりもやや低い。
- ・非正社員では7割近くが「アルバイト・パート」を希望しており現在の本来的な希望と大きく変わらないが、「フルタイム正社員」を希望しているのが15.3%とやや高くなっている。
- ・年代別にみたとときに高齢層ほど「フルタイム正社員」を希望する割合が低くなるのは同じ傾向である。



正社員希望理由

今後、「短時間正社員／フルタイム正社員」として働きたい理由として「あてはまるもの（いくつでも）」と「最もあてはまるもの（ひとつ）」（複数回答／単一回答）

- ・【複数回答】全体では「固定給が欲しいから」が最も高く、次いで「正社員の方が福利厚生が充実していることが多いから」の順となっている。正社員/非正社員を比べると非正社員では「賞与が欲しいから」「雇用が安定しているから」が5割を超えており、非正社員から正社員になることを希望している層の意向が表れている。
- ・【単一回答】全体では「固定給が欲しいから」が4割以上で目立って高い。非正社員は「固定給が欲しいから」が低く、「賞与が欲しいから」がやや高い。

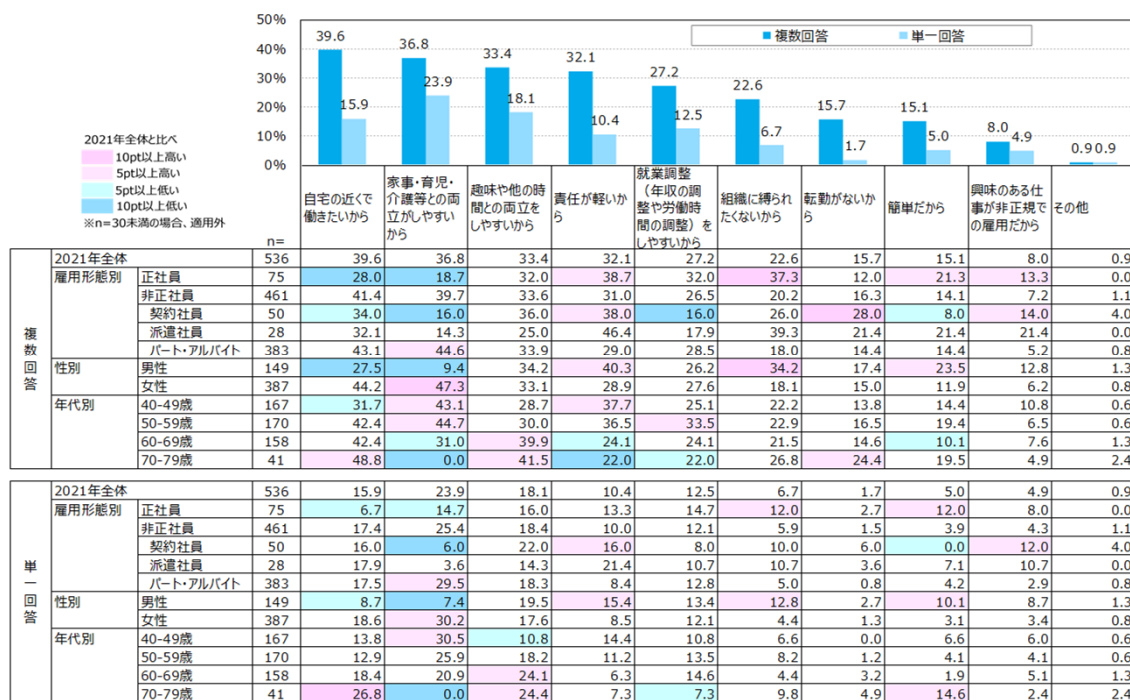


非正社員希望理由

今後[アルバイト・パート/派遣労働者/契約社員/業務委託]として働きたい理由（複数回答）

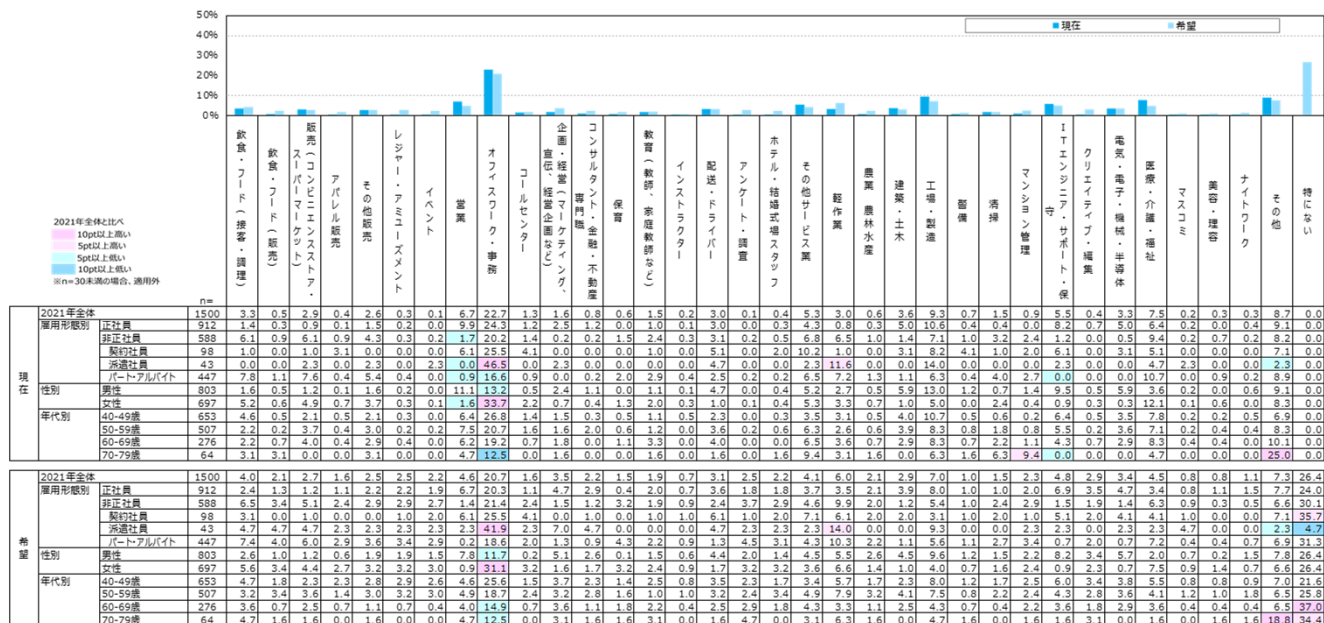
その中で最もあてはまる理由をひとつ（単一回答）

- ・【複数回答】全体では「自宅の近くで働きたいから」が最も高く、次いで「家事・育児・介護等との両立がしやすいから」の順となっている。正社員/非正社員を比べると正社員では「責任が軽いから」「組織に縛られたくないから」「簡単だから」がやや高く、正社員よりも楽な立場を望んで非正社員を希望していることが伺える。
- ・【単一回答】全体では「家事・育児・介護等との両立がしやすいから」が最も高く、次いで「趣味や他の時間との両立がしやすいから」の順となっている。



職種（現状⇔希望）：現在の職種（単一回答）／やってみたい職種（複数回答）

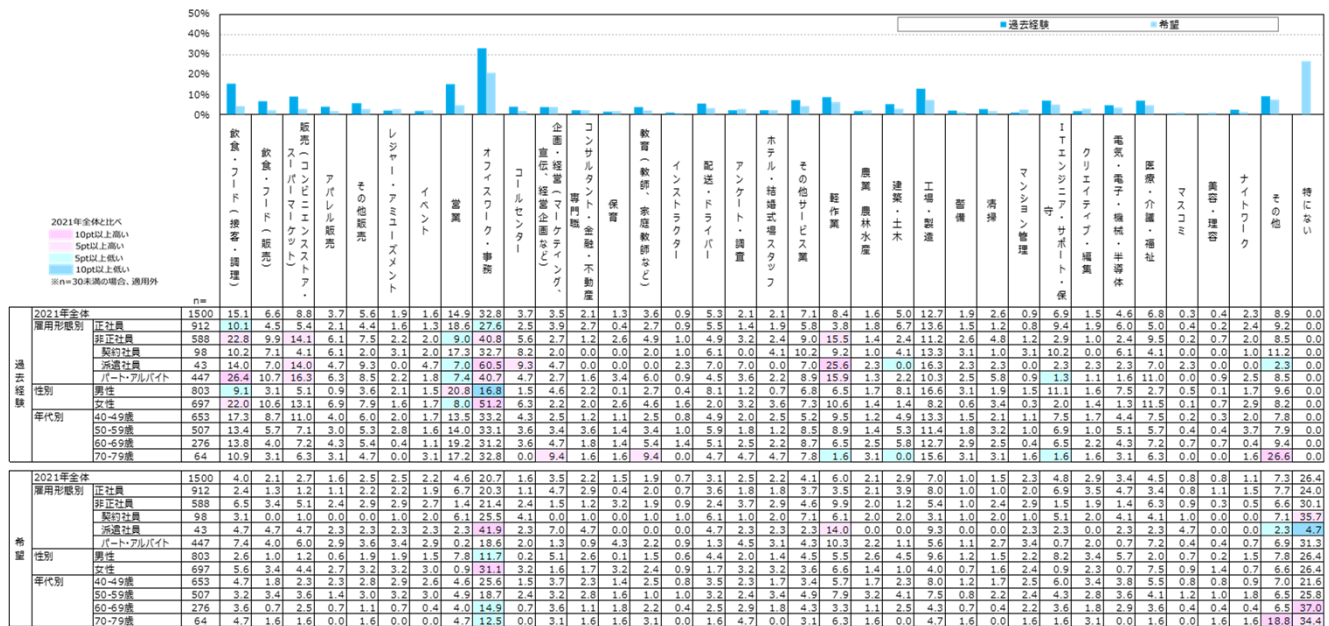
- ・【現状】全体では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「工場・製造」「医療・介護・福祉」となっている。正社員では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「営業」となっており、非正社員では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「医療・介護・福祉」である。
- ・【希望】全体では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「工場・製造」「軽作業」となっている。正社員では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「工場・製造」となっており、非正社員では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「軽作業」である。



職種（過去経験⇔希望）：現在の職種（単一回答）／やってみたい職種（複数回答）

・【過去経験】全体では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「飲食・フード（接客・調理）」「営業」となっている。

正社員では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「営業」となっており、非正社員では「オフィスワーク・事務」が最も高く、次いで「飲食・フード（接客・調理）」である。

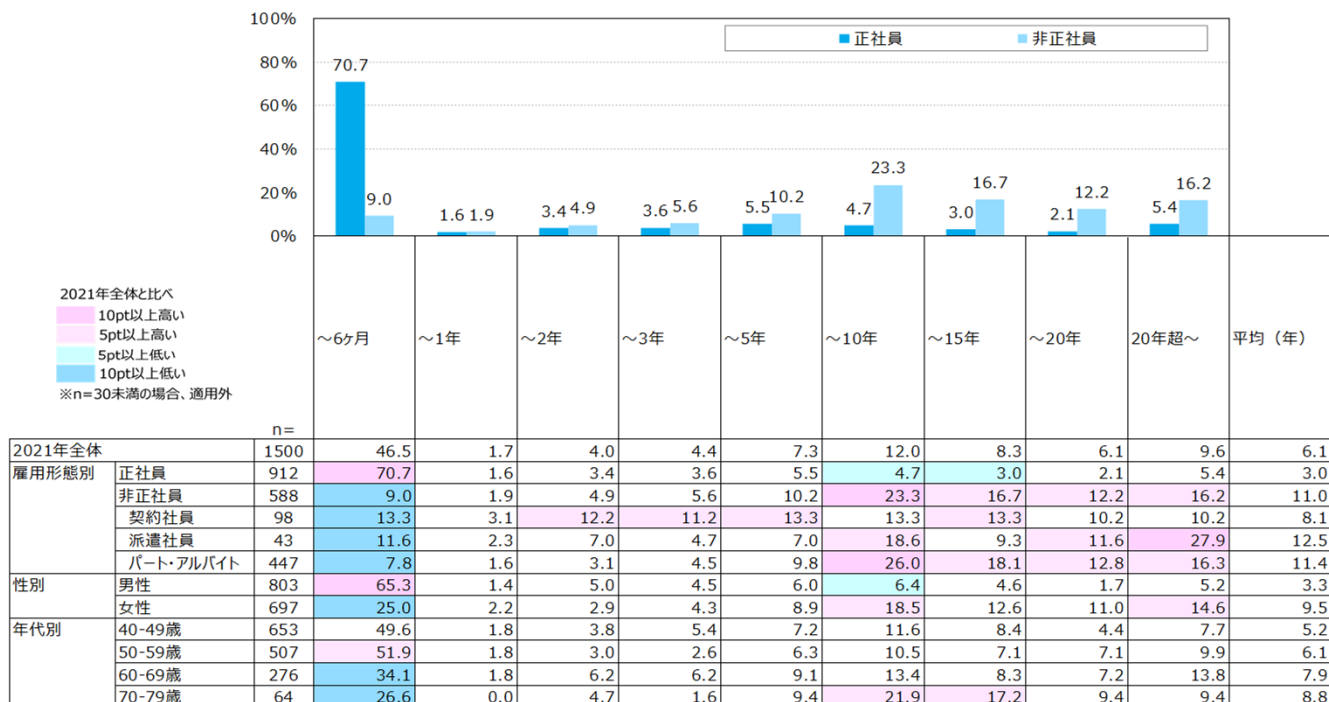


勤続期間（非正規雇用として）

・非正規雇用としての勤務期間で最も多い回答は「～6ヶ月」で、全体の46.5%。

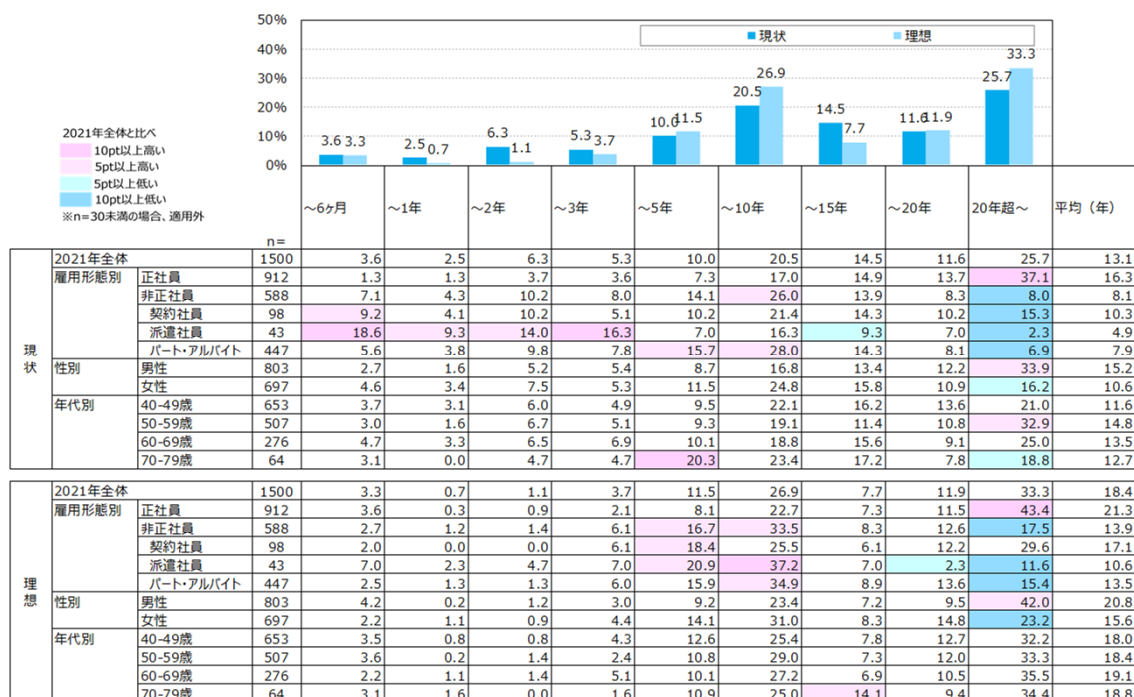
・正社員では「～6ヶ月」が最も高く、次いで「～5年」となっており、平均では3.0年である。

・非正社員では「～10年」が最も高く、次いで「～15年」となっており、平均で11.0年である



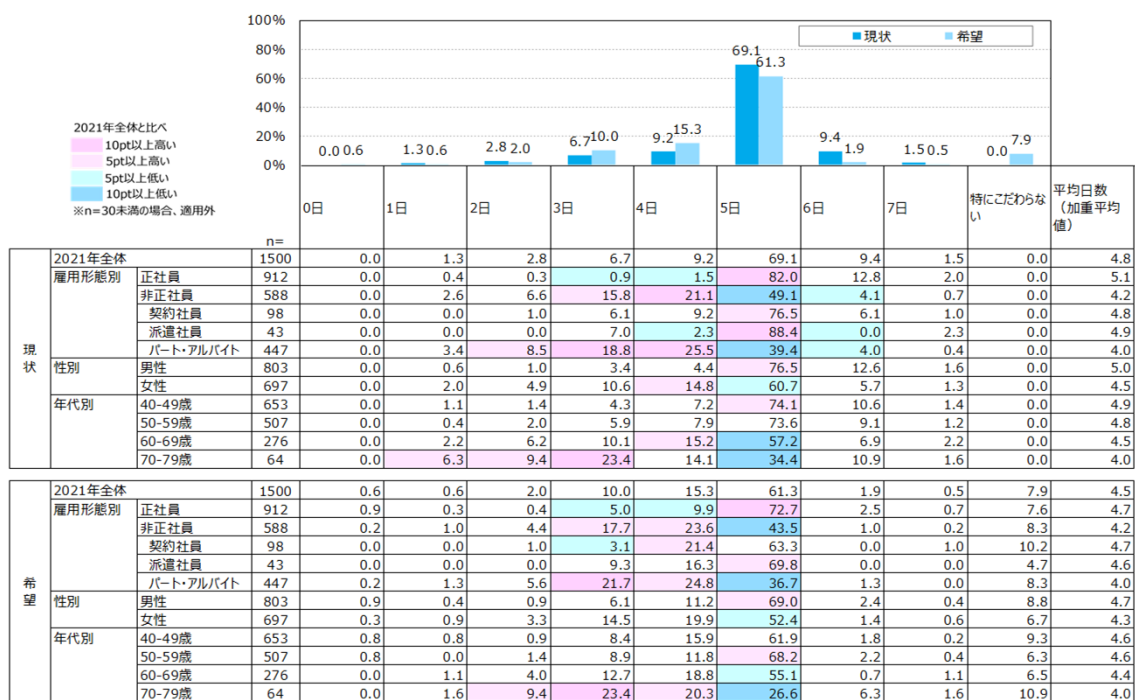
勤続期間（現状⇔理想）：現在の職場の勤務期間／ひとつの職場で働く理想の勤務期間（数値回答）

- ・【現状】全体では平均13.1年、正社員では16.3年に対して非正社員では8.1年である。
- ・【理想】全体では平均18.4年、正社員では21.3年に対して非正社員では13.9年である。正社員では「20年超～」が43.4%、非正社員では「～10年」が33.5%で最も高い。



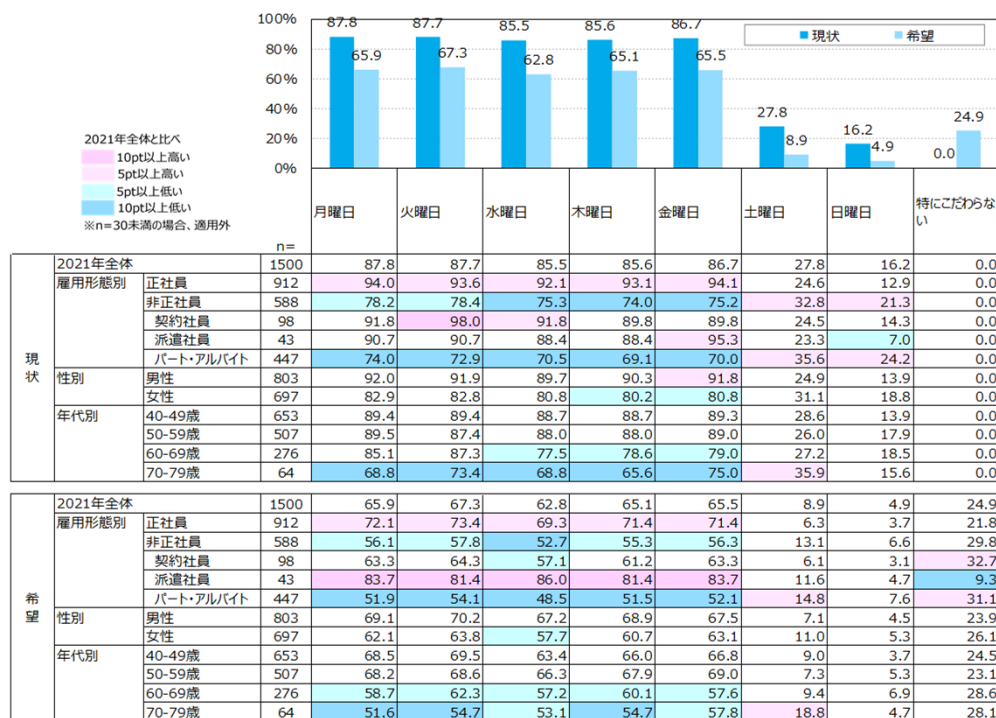
週の勤務日数（現状⇔理想）：現在の勤務日数／本来希望している勤務日数（単一回答）

- ・【現状】全体では平均4.8日、正社員では5.1日、非正社員では4.2日である。
- ・【希望】全体では平均4.5日、正社員では4.7日、非正社員では4.2日である。
- ・正社員は現状よりもやや少なく週5日以内の勤務が理想と考えているのに対して、非正社員では現状と理想に差がない。



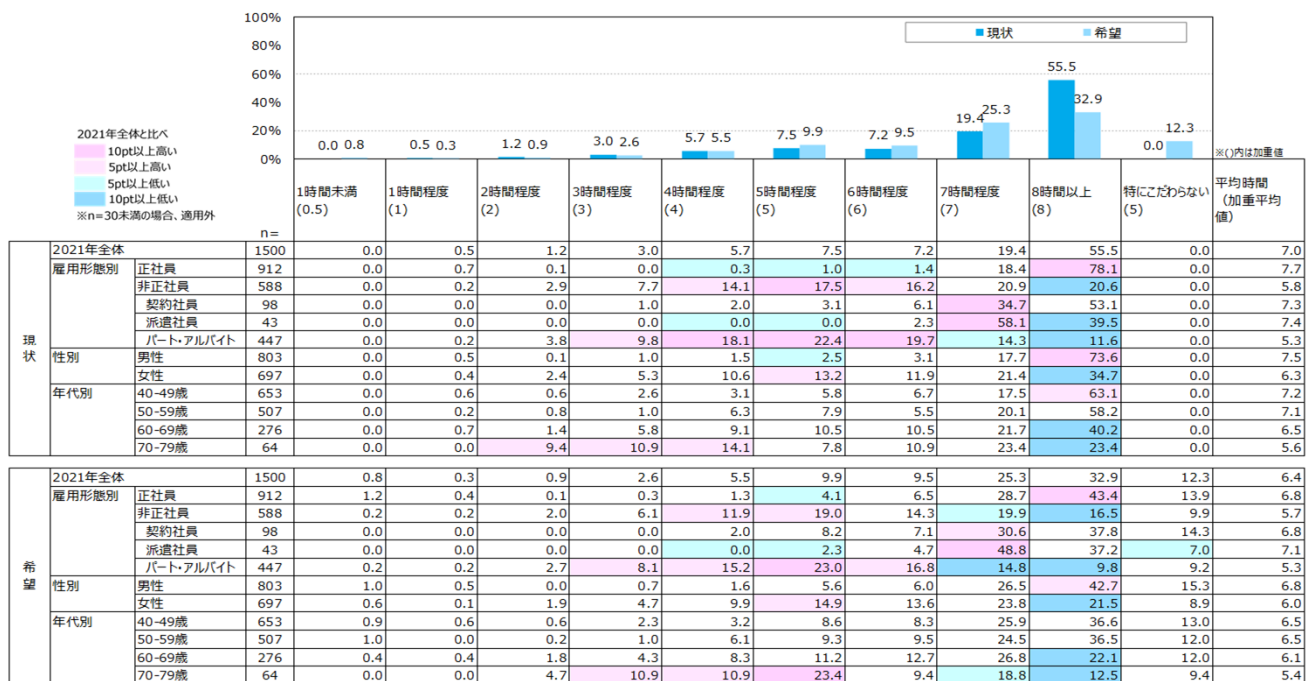
週の勤務曜日（現状⇔希望）：現在の勤務している曜日/本来希望している勤務曜日（複数回答）

- ・【現状】全体では「月曜日」が最も高いが、月曜～金曜の平日では大きな差はない。正社員でも同様の傾向で、非正社員では「月曜日」「火曜日」がわずかに高い。
- ・【理想】全体では「火曜日」が最も高く、平日の中では「水曜日」が最も低い。正社員・非正社員でも同様の傾向である。



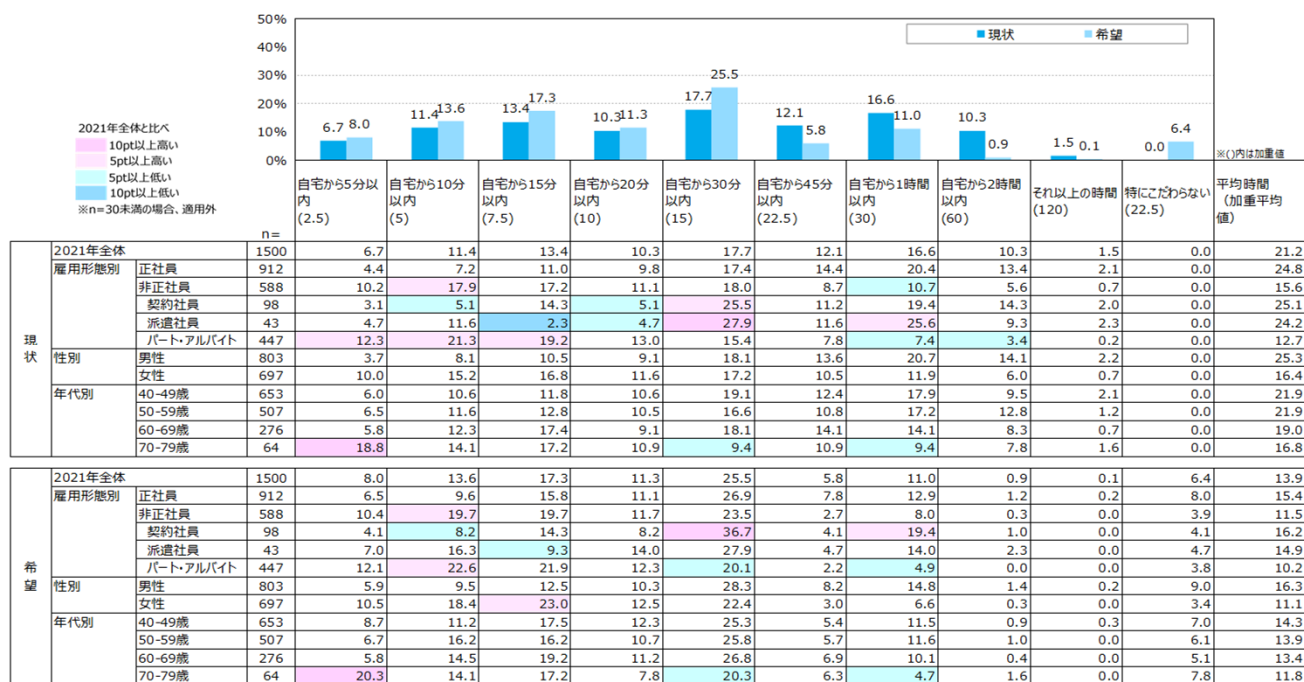
勤務時間（現状⇔希望）：現在の平均勤務時間/希望する平均勤務時間（単一回答）

- ・【現状】全体では平均7.0時間、正社員では7.7時間、非正社員では5.8時間となっている。
- ・【希望】全体では平均6.4時間、正社員では6.8時間、非正社員では5.7時間である。
- ・正社員は現状よりも1時間程度短いことを希望しているが、非正社員では現状と希望に大きな差は見られない。



通勤時間（現状⇔希望）：現在の通勤時間/本来希望している通勤時間（単一回答）

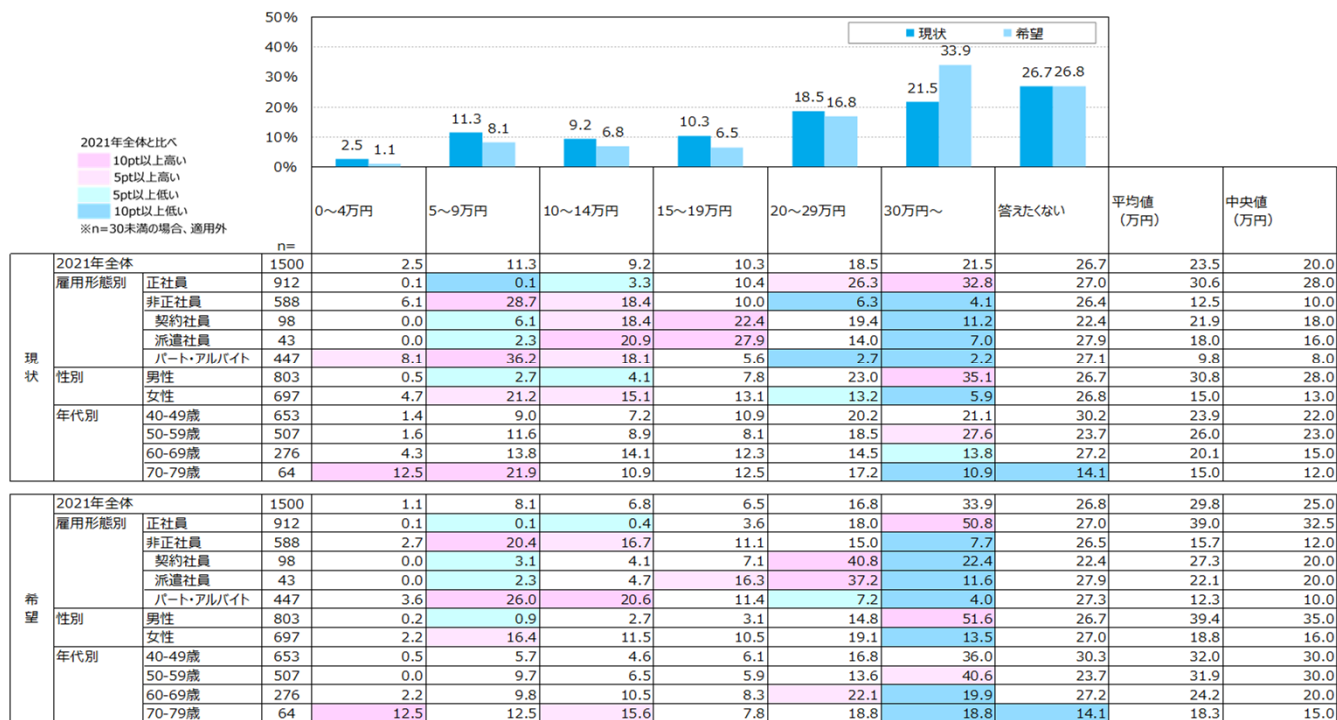
- ・【現状】全体では平均21.2分、正社員では24.8分、非正社員では15.6分となっている。
- ・【希望】全体では平均13.9分、正社員では15.4分、非正社員では11.5分である。
- ・正社員は現状よりも10分程度の短縮、非正社員では5分程度の短縮を希望している。



月の手取り収入（現状⇔希望）

現在の1ヶ月あたりの平均的な手取りの月収/希望する1ヶ月あたりの手取りの月収（数値回答）

- ・【現状】全体では中央値が20.0万円、平均23.5万円となっている。正社員では中央値28.0万円、平均30.6万円である。非正社員では中央値10.0万円、平均12.5万円である。
- ・【希望】全体では中央値が25.0万円、平均29.8万円となっている。正社員では中央値32.5万円、平均39.0万円である。非正社員では中央値12.0万円、平均15.7万円である。

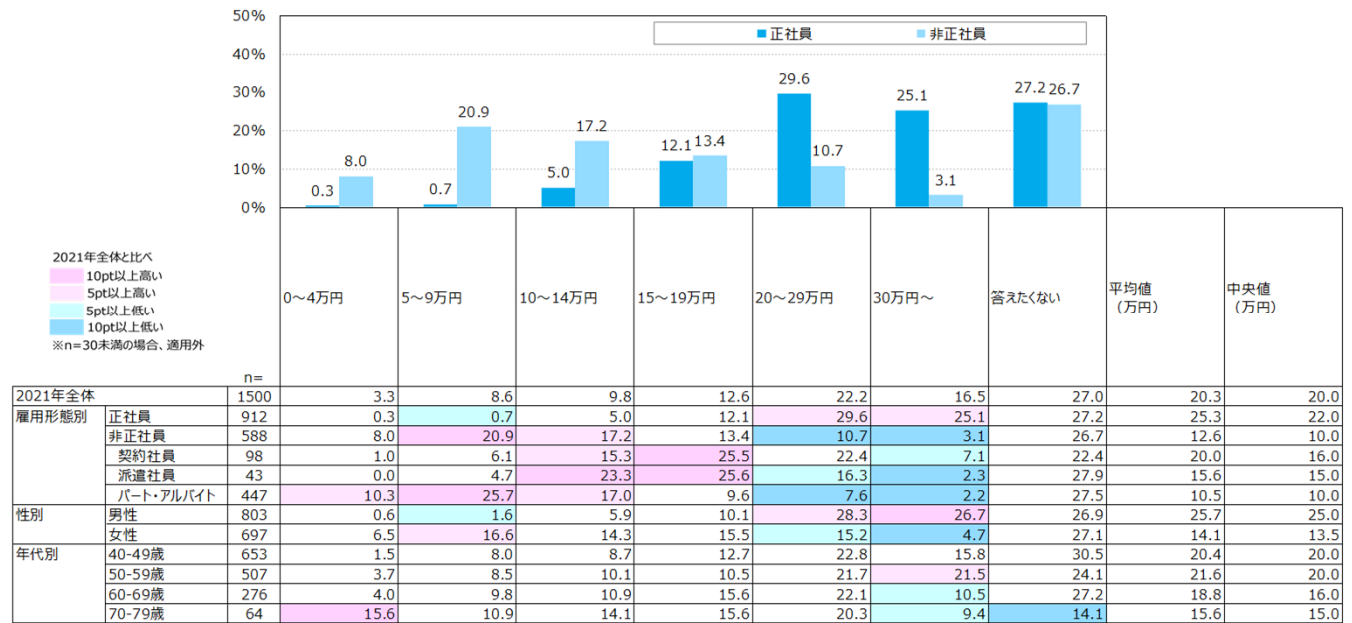


平均値：すべてのデータの値をたしてデータの個数で割った値

中央値：すべてのデータを小さい順に並べたとき中央に位置する値

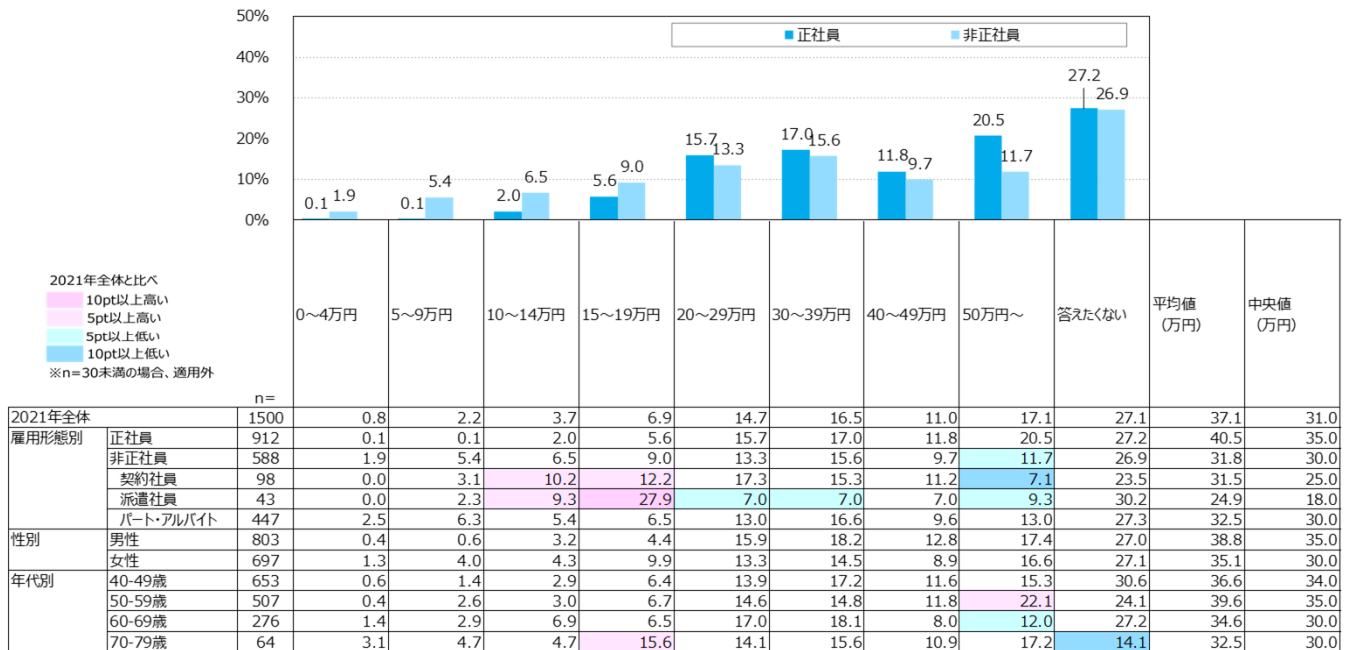
必要最低限な月収（数値回答）

- 全体では中央値が20.0万円、平均20.3万円となっている。正社員では中央値22.0万円、平均25.3万円である。非正社員では中央値10.0万円、平均12.6万円である。
- 非正社員は現在の月収と必要最小限な月収との間に差がない。



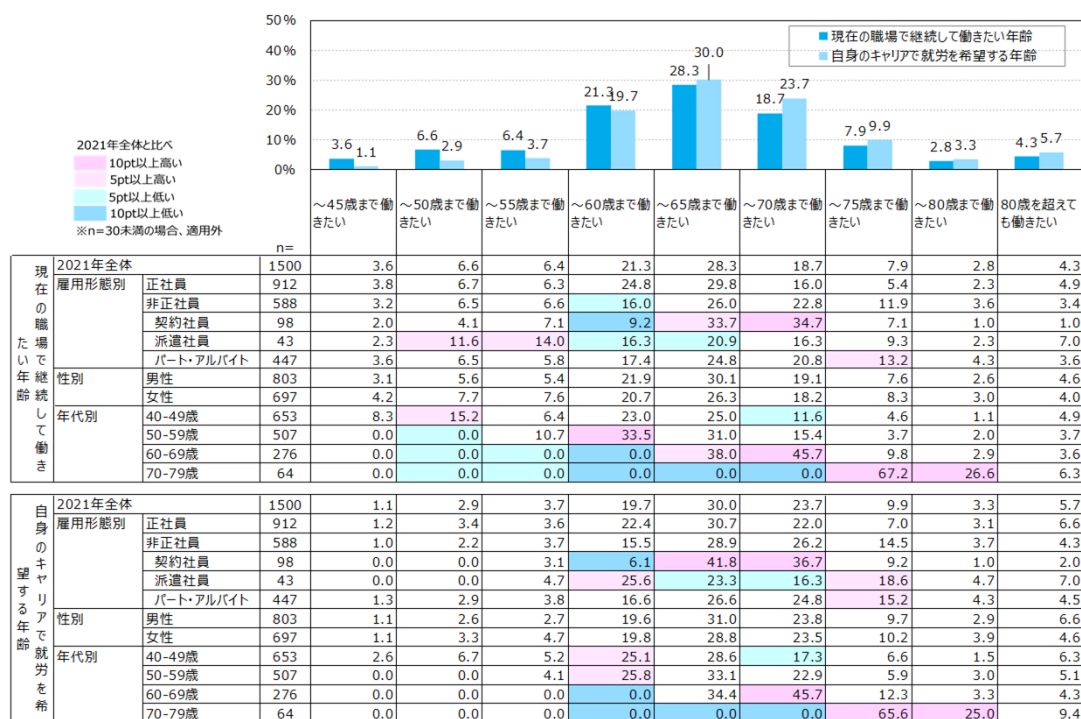
世帯収入（数値回答）

- 全体では中央値が31.0万円、平均37.1万円となっている。正社員では中央値35.0万円、平均40.5万円である。非正社員では中央値30.0万円、平均31.8万円である。



就労継続年齢（現在の職場での継続年齢⇔キャリアとしての継続年齢）（単一回答）

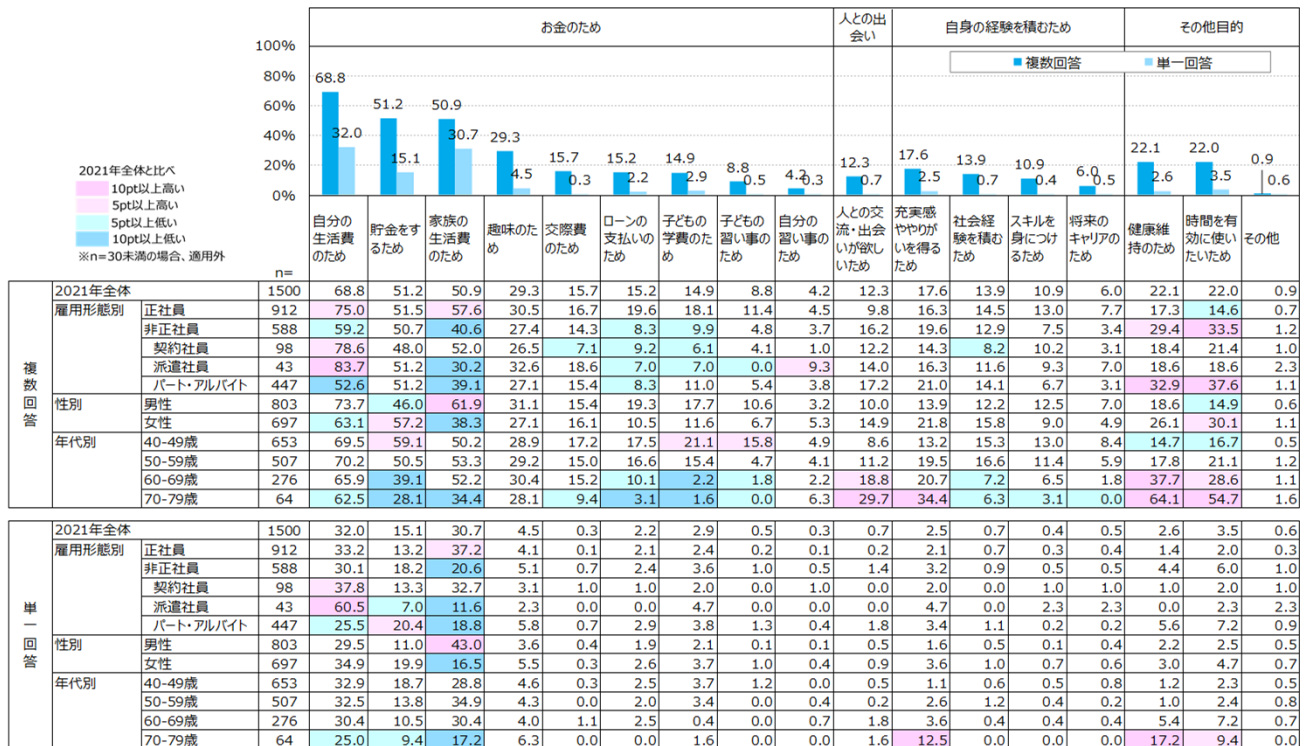
- ・【現在の職場での継続年齢】全体では「～65歳まで働きたい」が最も高く、次いで「～60歳まで働きたい」の順となっている。
正社員・非正社員とも「～65歳まで働きたい」が最も高い。
- ・【キャリアとしての継続年齢】全体では「～65歳まで働きたい」が最も高く、次いで「～70歳まで働きたい」の順となっている。
正社員・非正社員とも「～65歳まで働きたい」が最も高い。



(3) ミドルシニア／シニアの仕事探しに関する意識

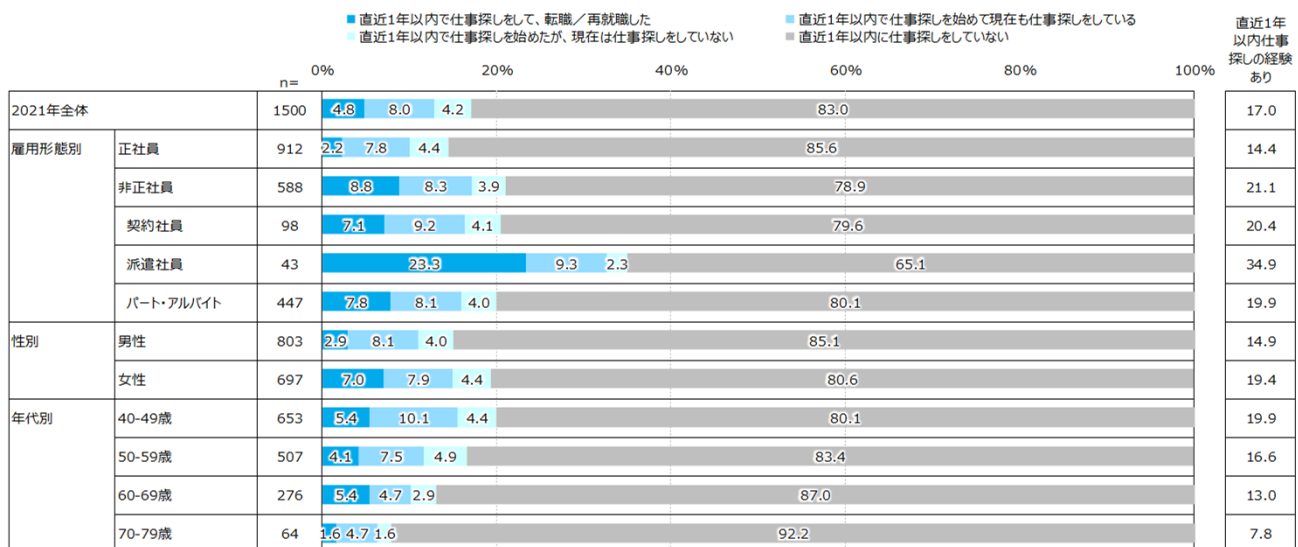
就労目的（複数回答／単一回答）

- ・【複数回答】全体で最も多い回答は「自分の生活費のため」、次いで「貯金をするため」「家族の生活費のため」の順となっている。正社員では「自分の生活費のため」が最も高く、次いで「家族の生活費のため」となり、非正社員では「自分の生活費のため」が最も高く、次いで「貯金をするため」となっている
- ・また非正社員では「時間を有効に使いたい」「健康維持のため」がやや高い。
- ・【単一回答】全体では「自分の生活費のため」が最も高く、「家族の生活費のため」が僅差で続いている。正社員では「家族の生活費のため」が最も高く、非正社員では「自分の生活費のため」が最も高い。



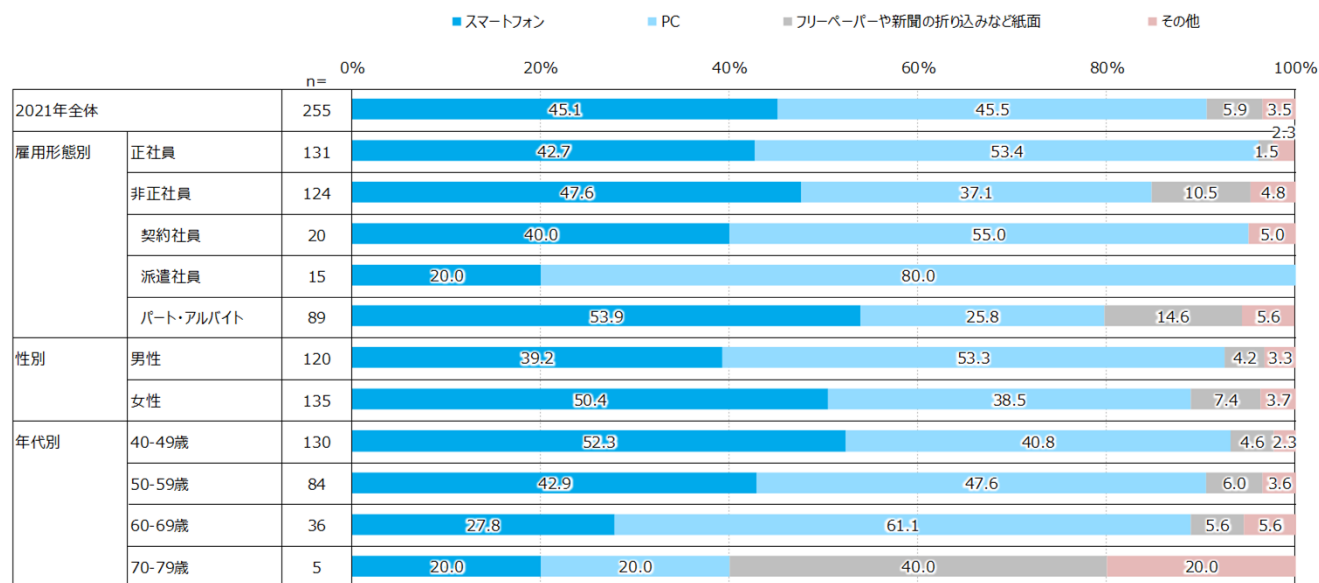
直近の仕事探し状況（単一回答）

- ・直近1年以内に仕事探しをしたことがあるのは全体の17.0%。正社員では14.4%に対して、非正社員では21.1%とやや高い。
- ・年代別にみると高齢層ほど仕事探しをしたことがある人の割合は減少傾向にあり、70-79歳では7.8%である。



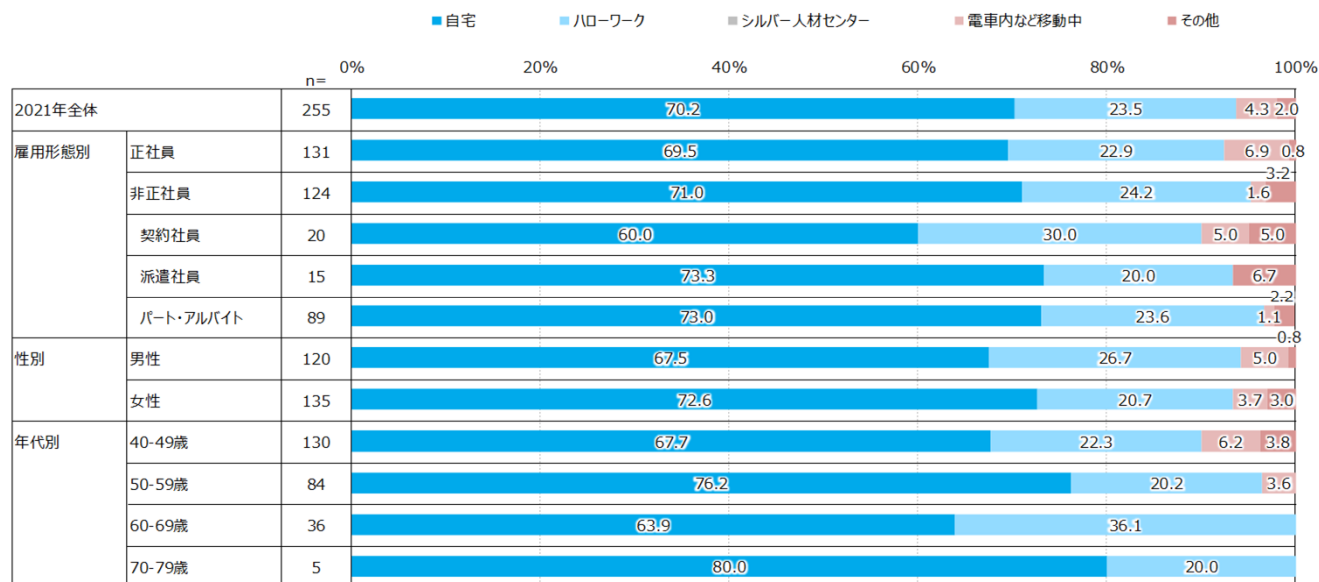
仕事探しに利用したデバイス（単一回答）

- ・全体では「PC」最も高いが、続く「スマートフォン」との差はほぼない。正社員では「PC」が53.4%に対して「スマートフォン」が42.7%、非正社員では「スマートフォン」が47.6%に対して「PC」が37.1%となっている。
- ・また、非正社員では「フリーペーパーや新聞の折り込みなど紙面」を利用している層が1割程度いる。



仕事探しをした場所（単一回答）

- ・全体では「自宅」が最も高く、次いで「ハローワーク」となっている。
- ・正社員・非正社員でも同様だが、正社員では「電車内など移動中」が6.9%いるのに対して非正社員では1.6%にとどまり、その分「自宅」と「ハローワーク」の割合が高くなっている。



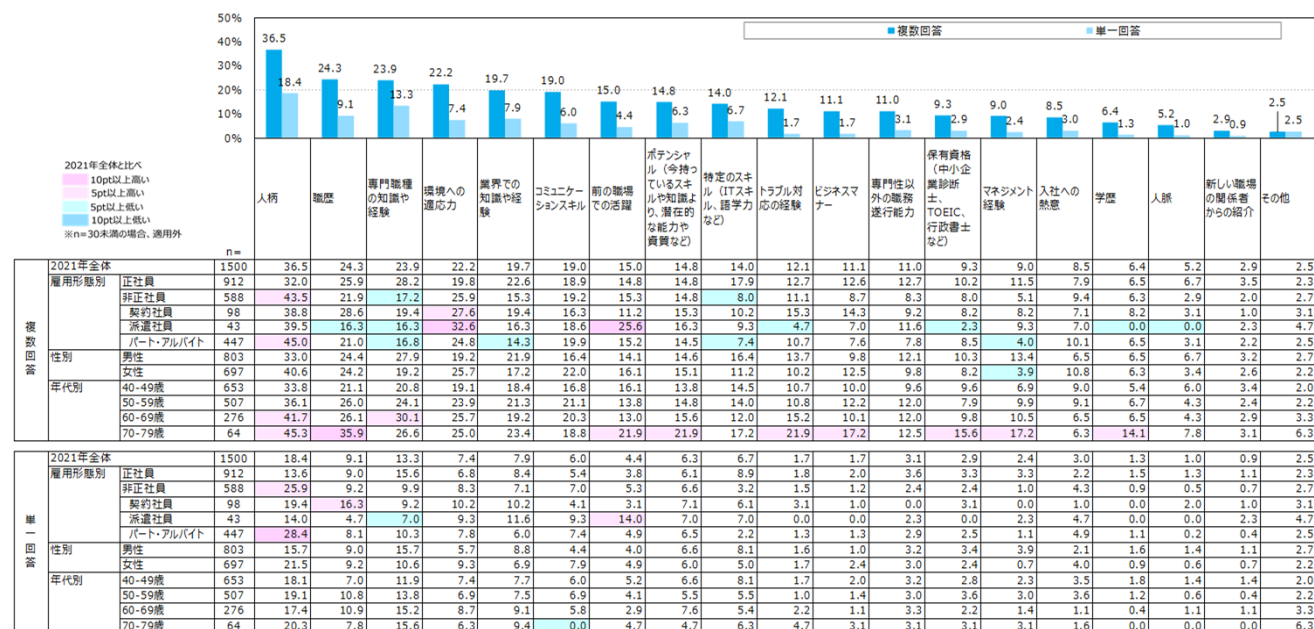
仕事探しをした日数（数値回答）

- ・全体では「1～4日」が最も高く、中央値をとると10日となる。
- ・正社員では「1～4日」が最も高く、中央値は10日。非正社員では「10～19日」が最も高く、中央値は14日となっており、非正社員の方が仕事探しに要する期間は長い。



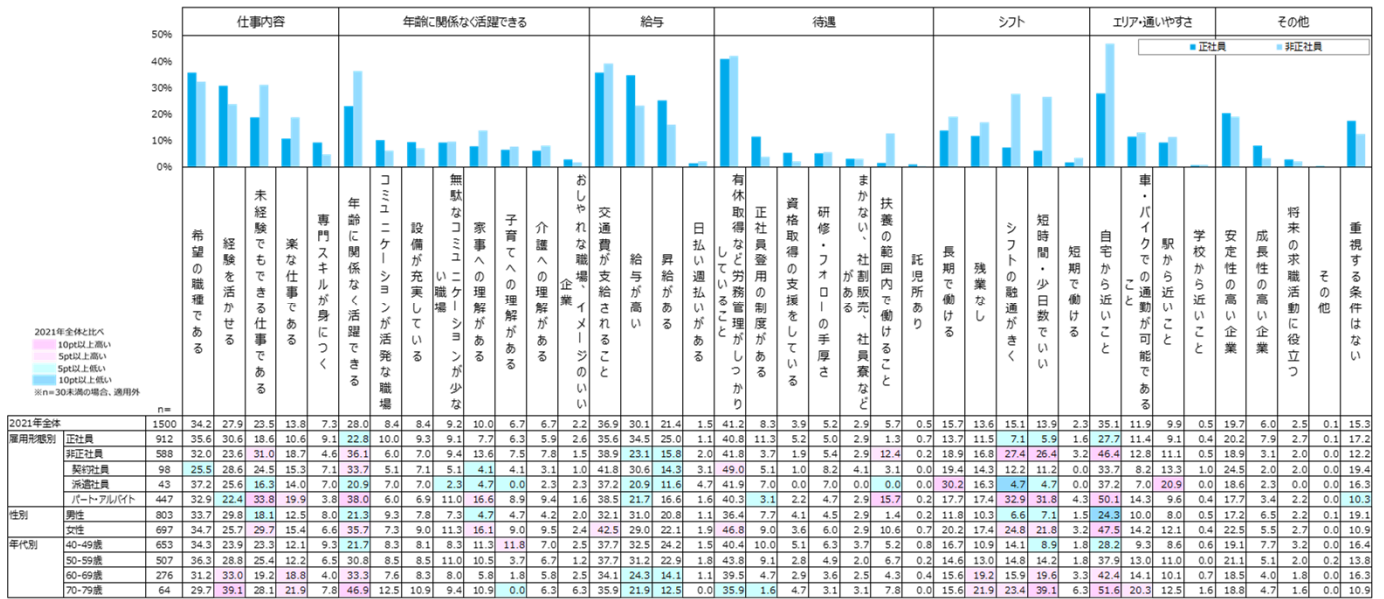
面接時のアピールポイント（仮に採用面接を受けるとしたら評価してもらいたいポイント）：（単一回答/複数回答）

- ・【複数回答】全体では「人柄」が最も高く、次いで「職歴」「専門職種の知識や経験」の順となっている。正社員では「人柄」「専門職種の知識や経験」の順、非正社員では「人柄」「環境への適応力」の順である。また非正社員では「人柄」がやや高く、「専門職種の知識や経験」「特定のスキル」がやや低い。
- ・【単一回答】全体では「人柄」が最も高く、正社員では「専門職種の知識や経験」、非正社員では「人柄」となっている。



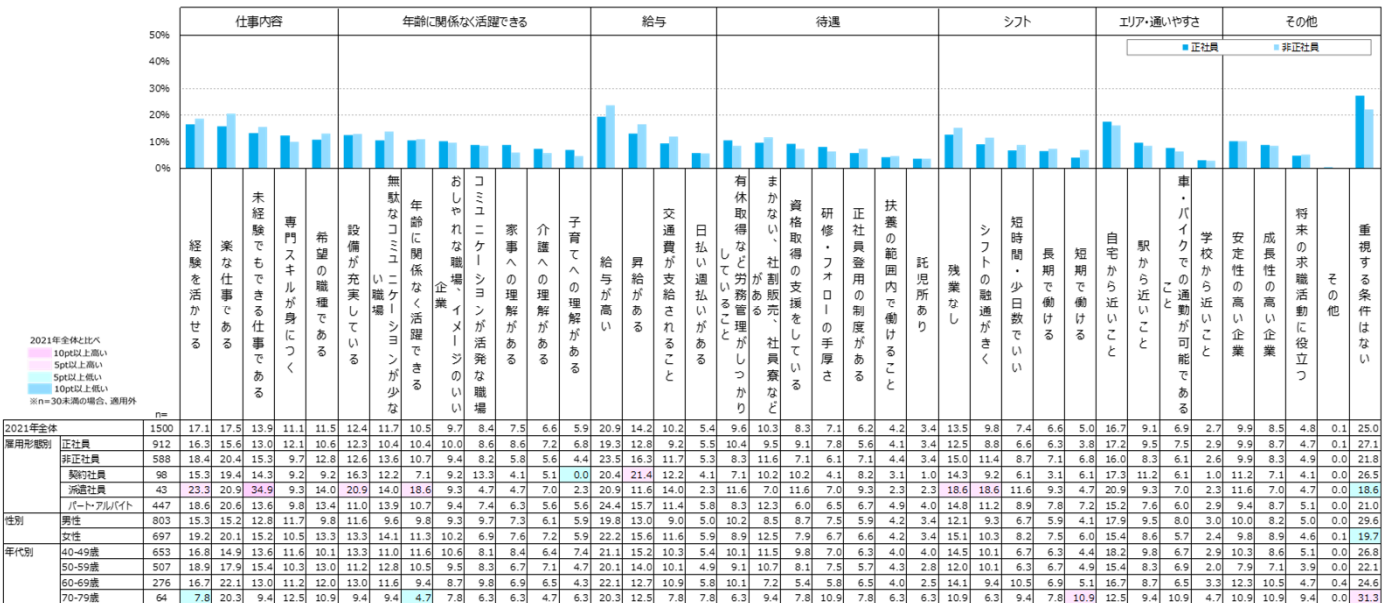
仕事探しの重視条件（絶対条件）：（複数回答）

- ・全体では「有休取得など労務管理がしっかりしていること」が最も高く、次いで「交通費が支給されること」「自宅から近いこと」の順となっている。
- ・正社員では「有休取得など労務管理がしっかりしていること」「希望の職種である」「交通費が支給されること」の順に高い。
- ・非正社員では「自宅から近いこと」「有休取得など労務管理がしっかりしていること」「交通費が支給されること」の順に高い。
- ・また非正社員では「自宅から近いこと」「シフトの融通がきく」「短時間・少日数でいい」が全体に比べて高い。



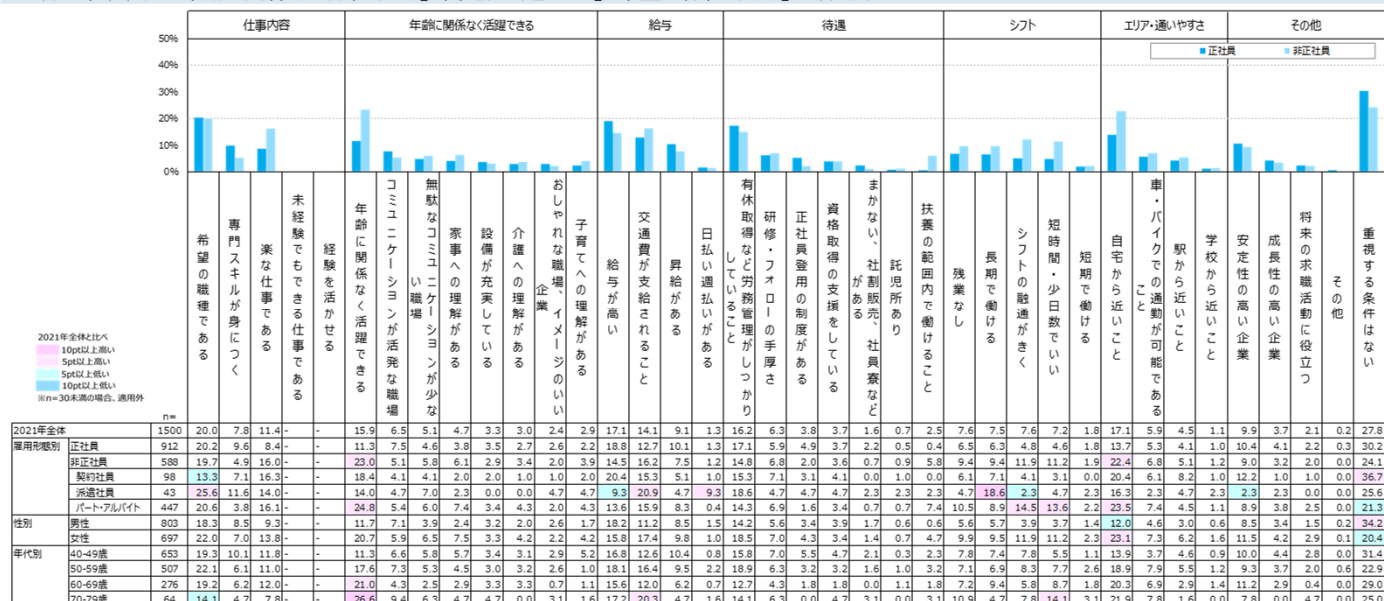
仕事探しの重視条件（あったら良いが、必須ではないこと）：（複数回答）

- ・全体では「給与が高い」が最も高く、次いで「楽な仕事である」「経験を活かせる」の順となっている。
- ・正社員では「給与が高い」「経験を活かせる」「楽な仕事である」の順に高い。
- ・非正社員では「給与が高い」「楽な仕事である」「経験を活かせる」の順に高い。



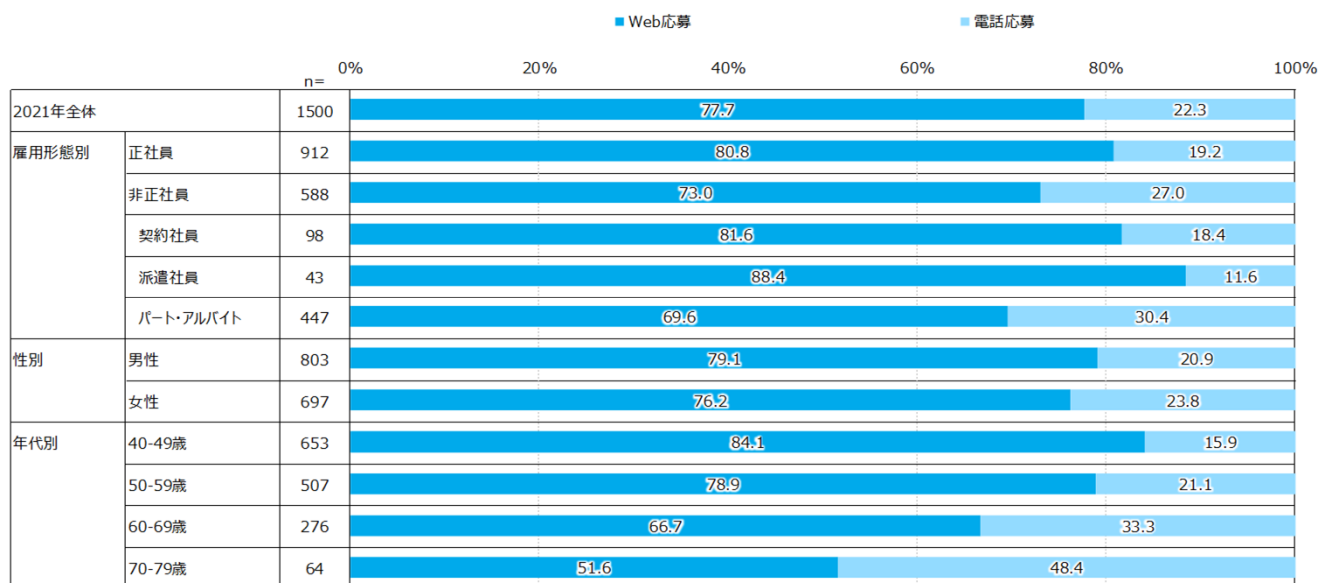
仕事探しの重視条件（未経験の仕事を探す際に重視する条件）：（複数回答）

- ・全体では「希望の職種である」が最も高く、「給与が高い」「自宅から近いこと」の順となっている。
- ・正社員では「希望の職種である」「給与が高い」「有休取得など労務管理がしっかりしていること」の順に高い。
- ・非正社員では「年齢に関係なく活躍できる」「自宅から近いこと」「希望の職種である」の順に高い。



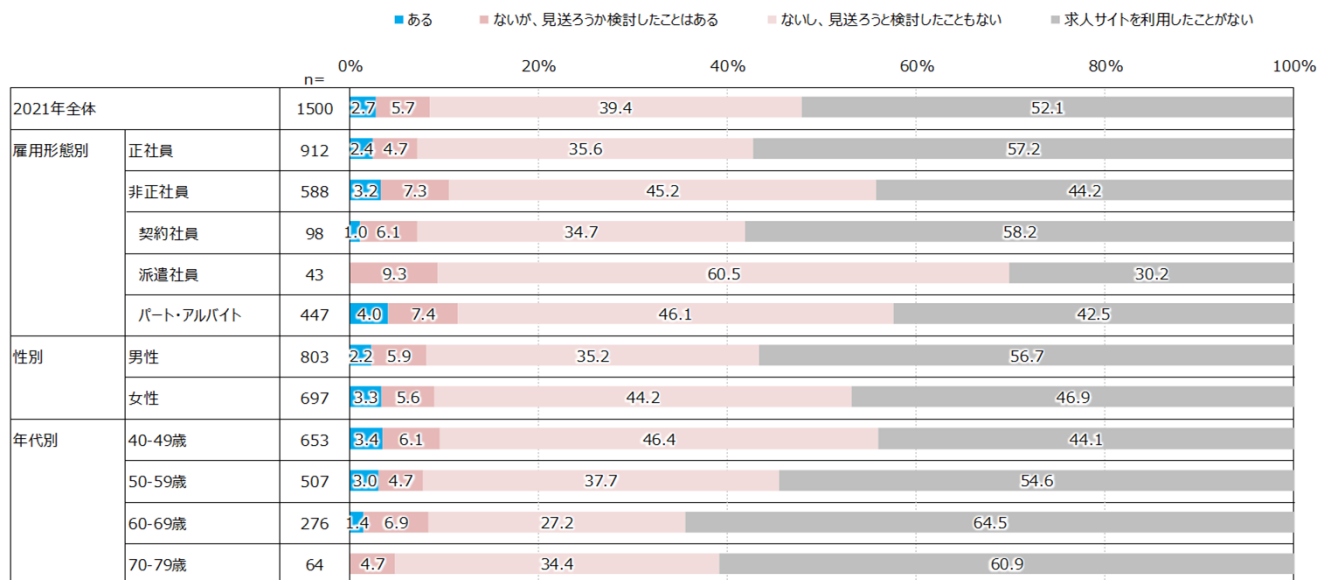
求人サイトの応募方法（単一回答）

- ・全体では「Web応募」と回答した人が77.7%となっており、正社員では80.8%、非正社員では73.0%と、Webでの応募を想定する層が大半を占める。
- ・年代別にみると、70-79歳においても「Web応募」が半数を超えている。



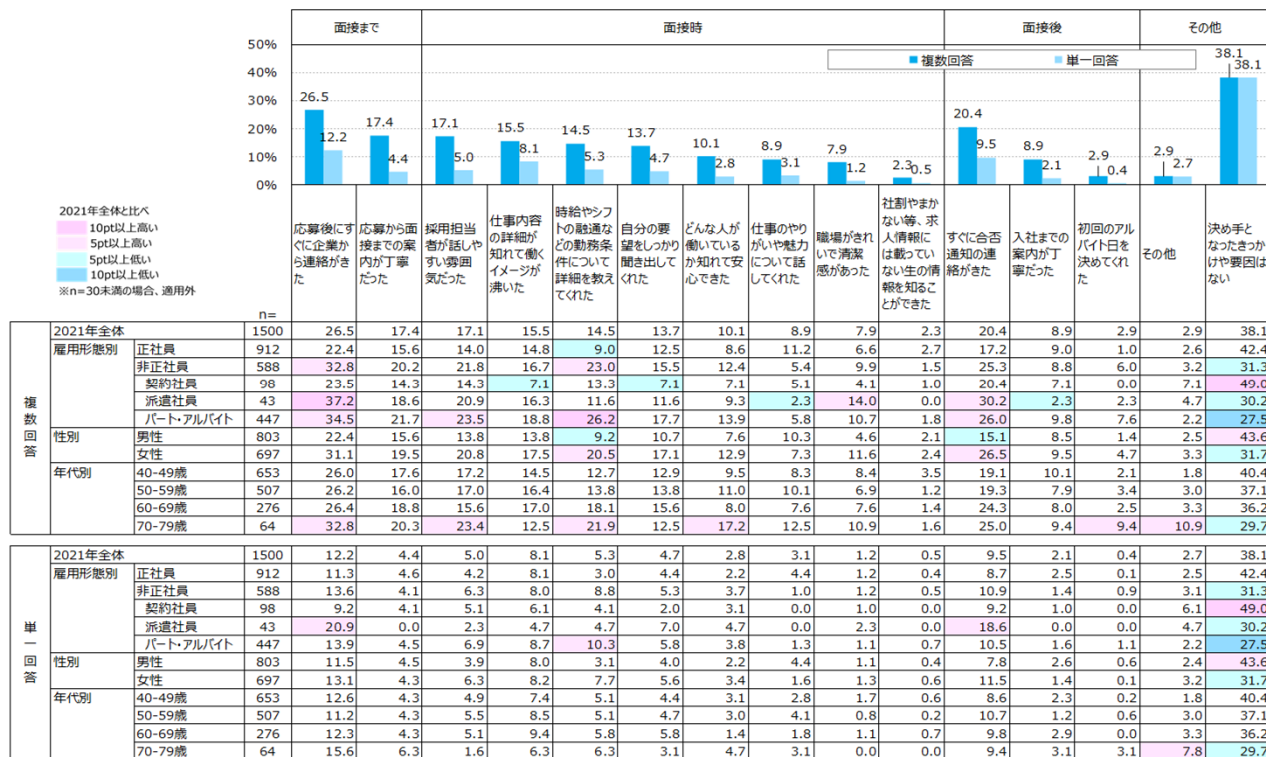
求人サイトの応募見送り経験（単一回答）

- ・電話応募がないことで応募を見送った経験があるのは全体の2.7%。正社員では2.4%、非正社員では3.2%となっており、電話応募がないことでの影響は軽微と思われる。



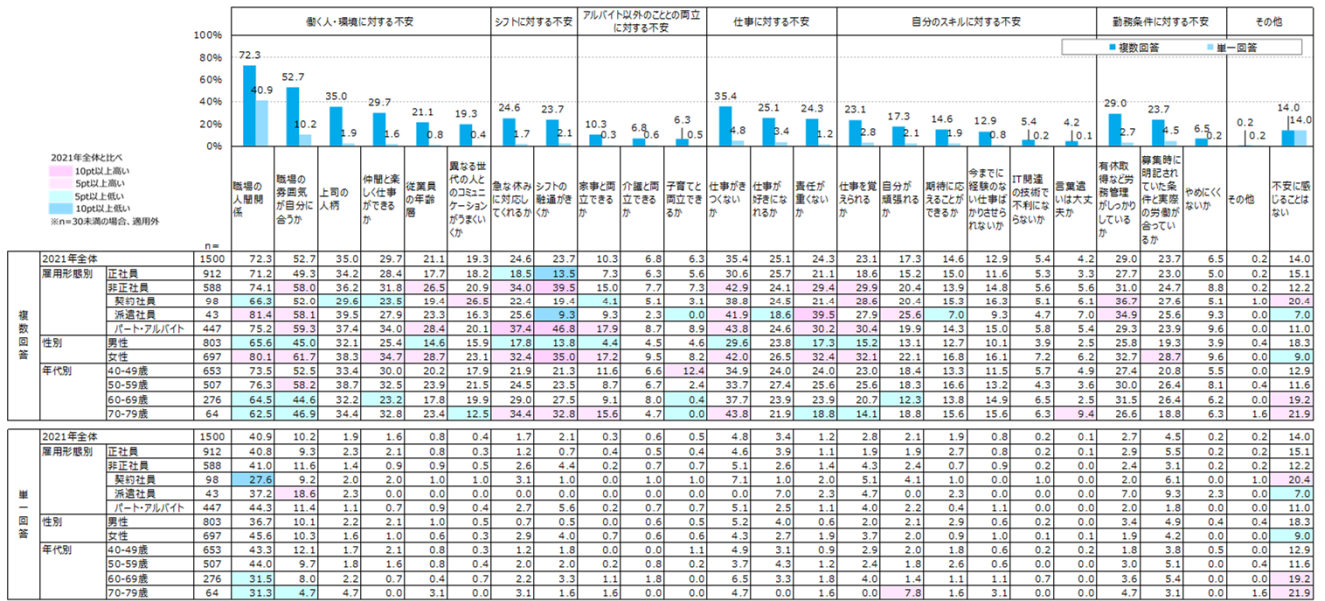
現職場の入社の決め手（単一回答/複数回答）

- ・【複数回答】全体では「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が最も高く、次いで「すぐに合否通知の連絡がきた」の順となっている。非正社員では「時給やシフトの融通などの勤務条件について詳細を教えてくれた」「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が全体に比べて高めである。また正社員は非正社員に比べて決め手となったきっかけや要因はないが10pt以上高い。
- ・【単一回答】全体では「応募後にすぐに企業から連絡がきた」が最も高く、次いで「すぐに合否通知の連絡がきた」の順である。正社員・非正社員で比べて大きな差はなく、企業側からのレスポンスの速さが評価されているようだ。



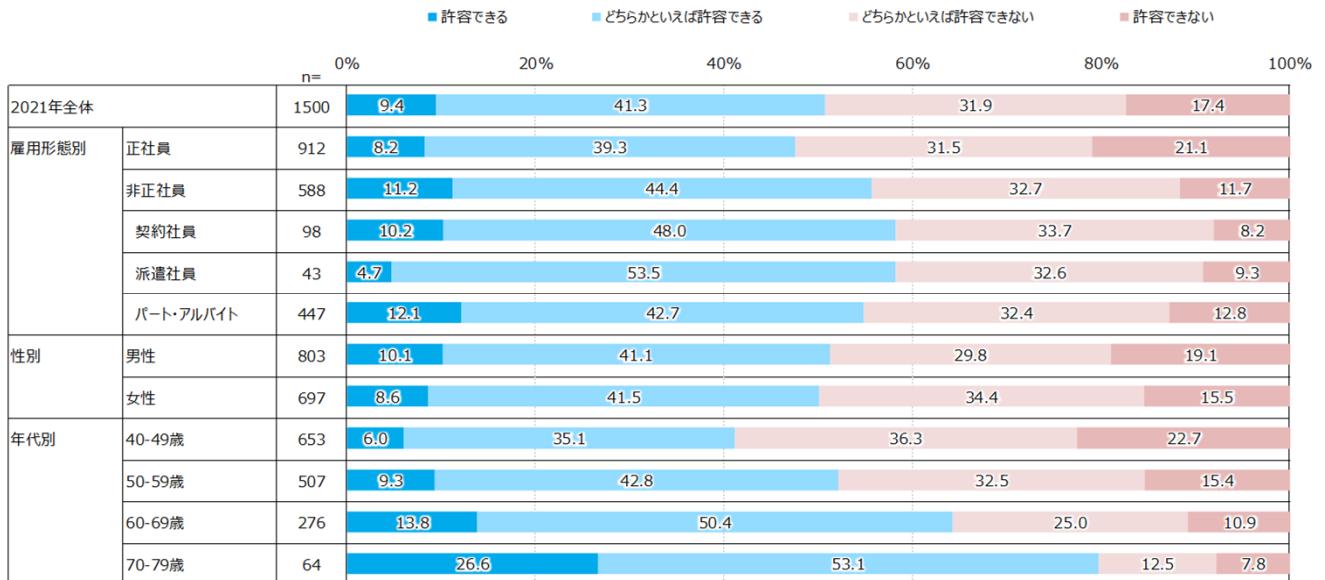
新しく仕事を始める際に不安に感じること（単一回答/複数回答）

- ・【複数回答】全体では「職場の人間関係」が最も高く、次いで「職場の雰囲気」が自分に合っている」「仕事がつきつかないか」の順となっている。非正社員では「シフトの融通がきくか」が全体に比べて高いのに対して、正社員では低い。また非正社員では「職場の雰囲気」が自分に合うか」「仕事がつきつかないか」など6項目が全体に比べて高めとなっており、不安に感じる要素が多い。
- ・【単一回答】全体では「職場の人間関係」が他の項目に比べて突出して高く、正社員・非正社員でも変わらない。



収入減少を許容できるか（単一回答）

- ・収入減少を許容できる（「許容できる」+「どちらかといえば許容できる」の合計）と回答した層は全体の50.7%。正社員では47.5%、非正社員では55.6%となっている。
- ・年代別にみると、高齢になるほど収入減少を許容できる層の割合は高く、70-79歳では8割近くを占めている。



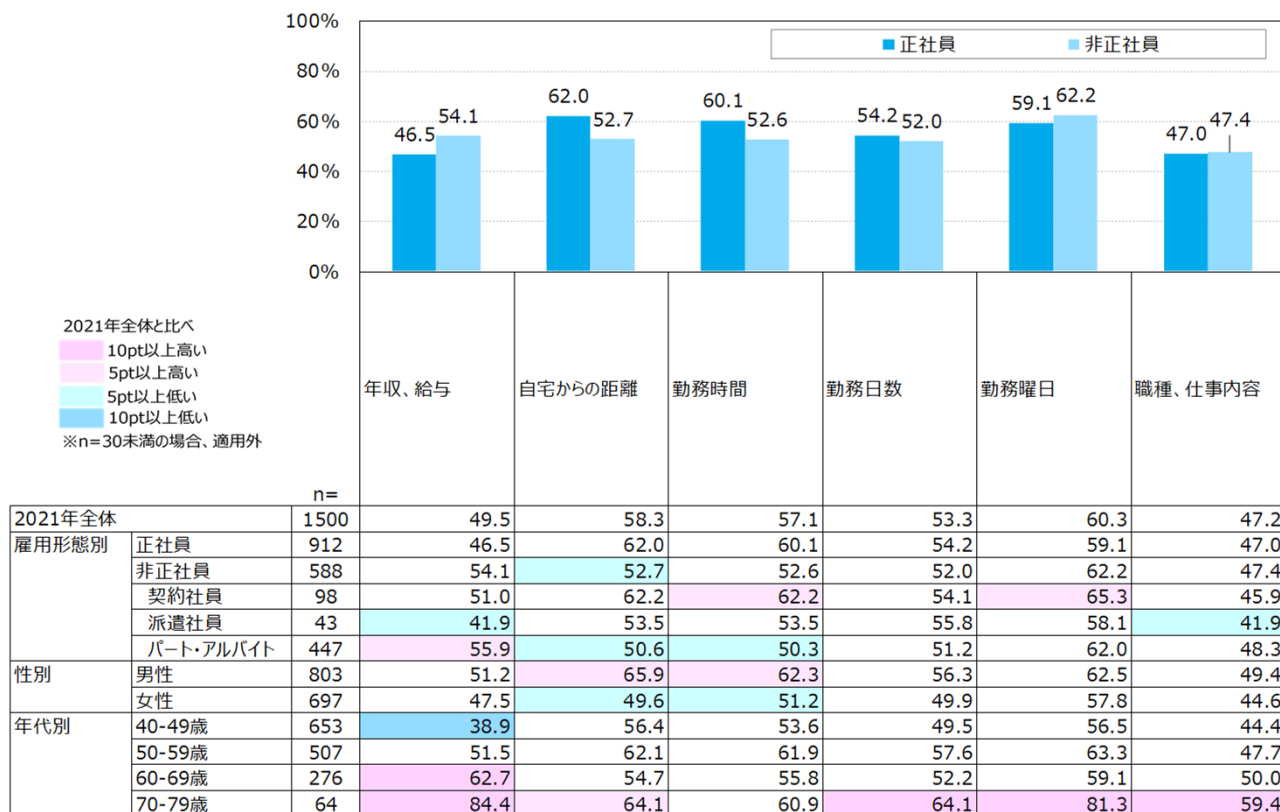
許容できる減少額（数値回答）

- ・全体では「1～4万円」が最も高く、次いで「10～19万円」の順となっている。正社員では「50～99万円」が最も高く、非正社員では「1～4万円」である。
- ・中央値でも、正社員は30万円であるのに対して非正社員は10万円となっており許容できる額の差が大きい。



新しく仕事を始める際に妥協できること（Top2一覧）：（単一回答）

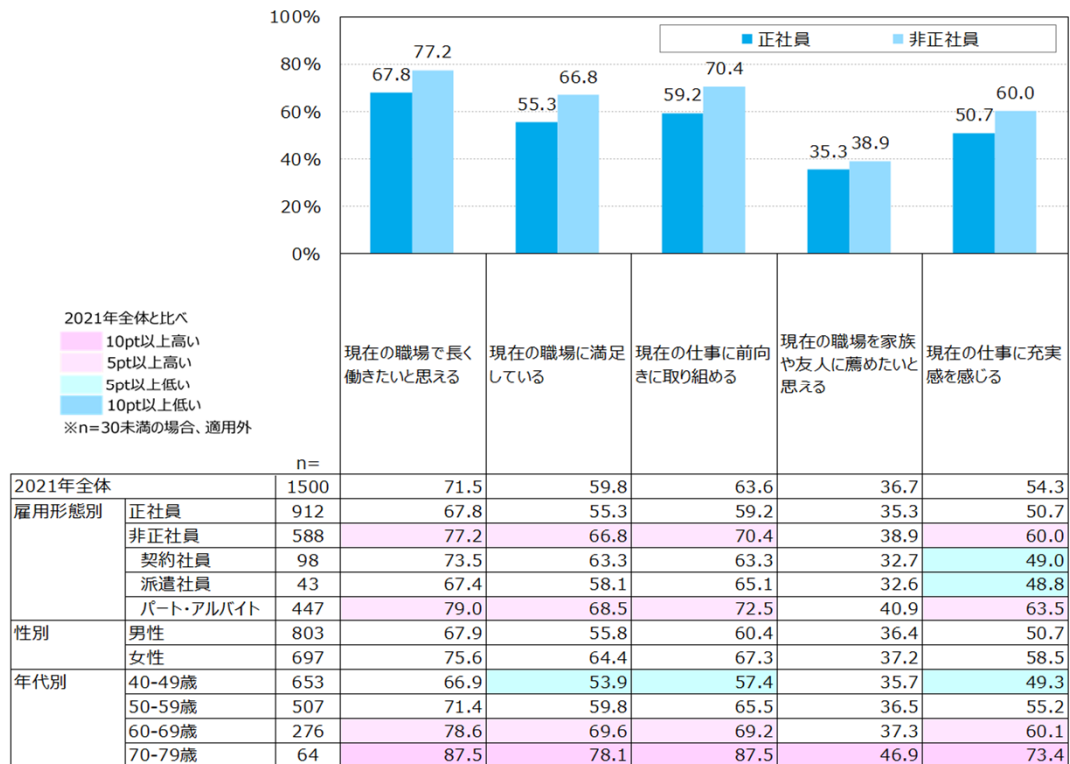
- ・全体ではTop2で最も高い項目は「勤務曜日」である。
- ・正社員では「自宅からの距離」「勤務時間」「勤務曜日」の順となっており、非正社員では「勤務曜日」「年収、給与」「自宅からの距離」の順である。



（４）現在の職場への意識

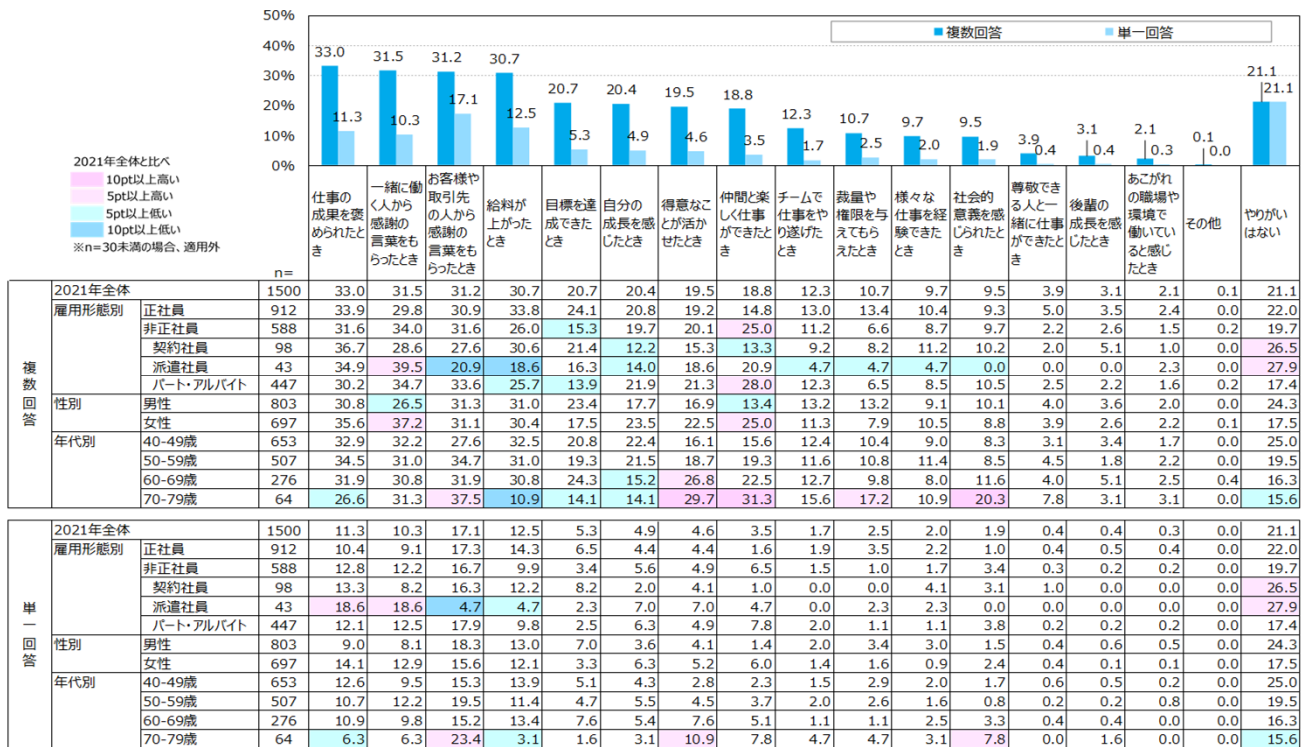
現職場の意識：Top2一覧（単一回答） ※スコアは「そう思う」＋「どちらかといえばそう思う」

- ・全体ではTop2で最も高い項目は「現在の職場で長く働きたいと思える」である。正社員・非正社員ともに「現在の職場で長く働きたいと思える」「現在の仕事に前向きに取り組める」の順となっている。
- ・正社員と非正社員を比べると各項目とも非正社員の方が10pt程度高く、現在の職場への思いが強いようである。



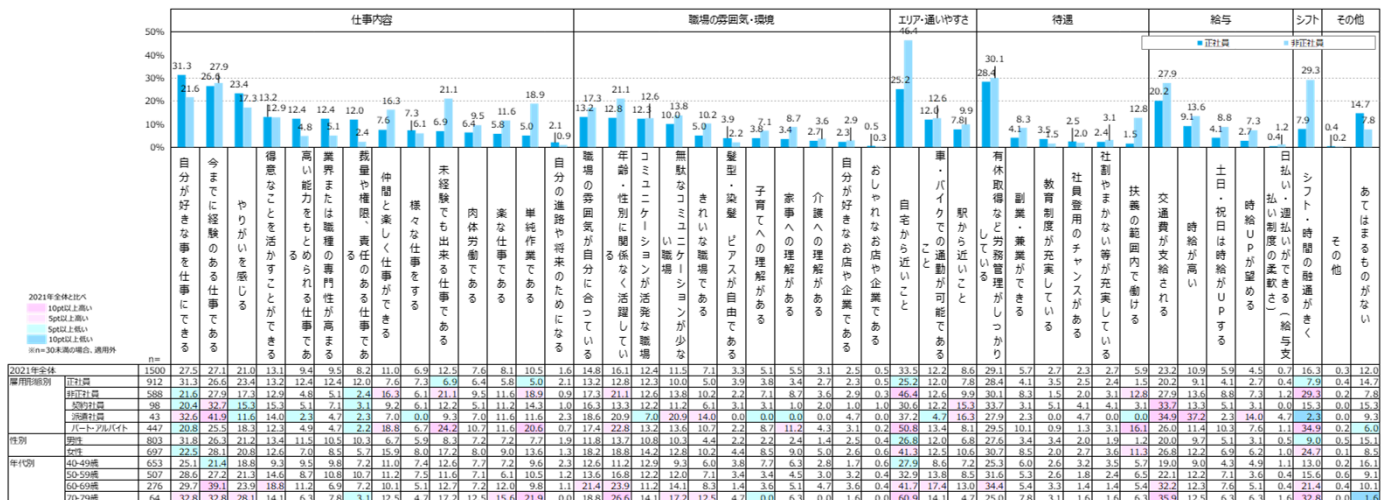
現在の勤め先でやりがいを感じたとき（複数回答/単一回答）

- ・【複数回答】全体では「仕事の成果を褒められたとき」が最も高く、次いで「一緒に働く人から感謝の言葉をもらったとき」「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」の順となっている。非正社員では「仲間と楽しく仕事ができるとき」が全体に比べてやや高く、「目標を達成できたとき」がやや低い。
- ・【単一回答】全体では「お客様や取引先の人から感謝の言葉をもらったとき」が最も高く、次いで「給料が上がったとき」「仕事の成果を褒められたとき」の順になっているが、回答は分散している。正社員・非正社員では大きな差は見られない。



現在している仕事について（複数回答）

- ・全体では「自宅から近いこと」が最も高く、「自分が好きな事を仕事にできる」「今までに経験のある仕事である」の順となっている。
- ・正社員では「自分が好きな事を仕事にできる」「今までに経験のある仕事である」「自宅から近いこと」の順に高い。
- ・非正社員では「自宅から近いこと」「有休取得など労務管理がしっかりしている」「シフト・時間の融通がきく」の順に高い。



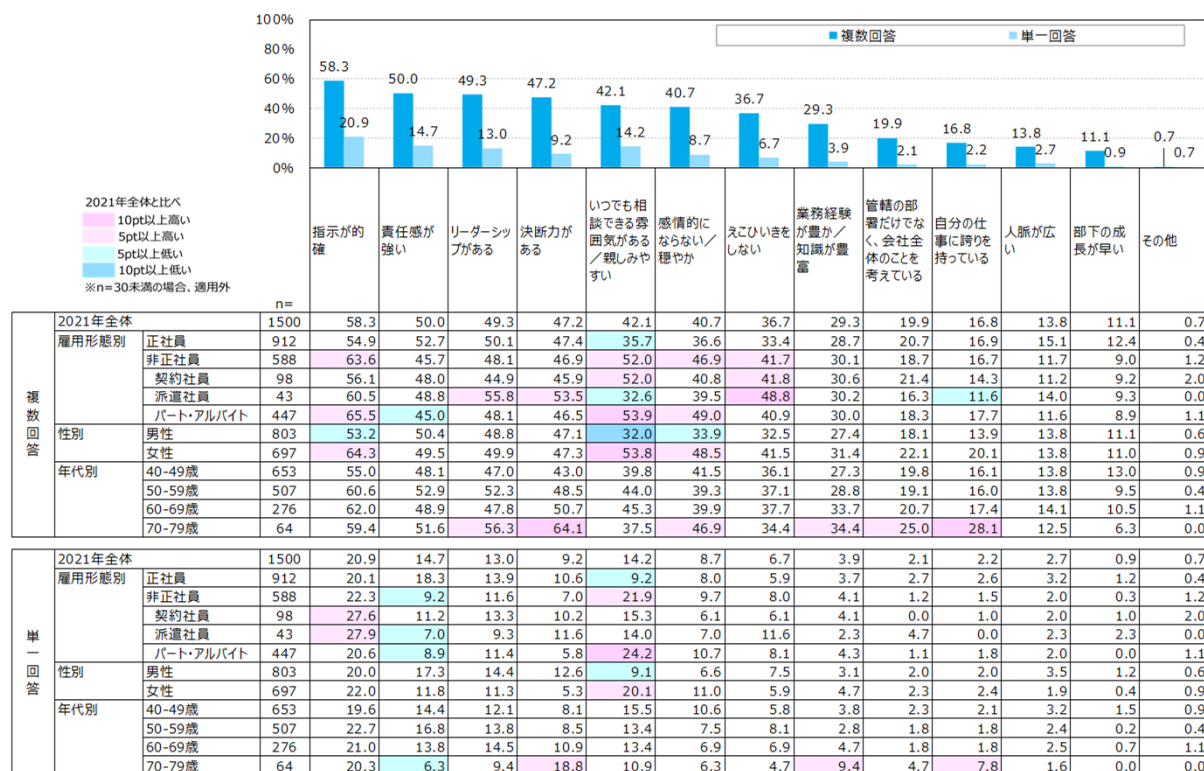
勤務先の理想の上司像（複数回答/単一回答）

・【複数回答】全体では「指示が的確」が最も高く、次いで「責任感が強い」「リーダーシップがある」の順となっている。

非正社員は「指示が的確」「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」「感情的にならない／穏やか」

「えこひいきをしない」が全体に比べてやや高く、正社員は「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」がやや低い。

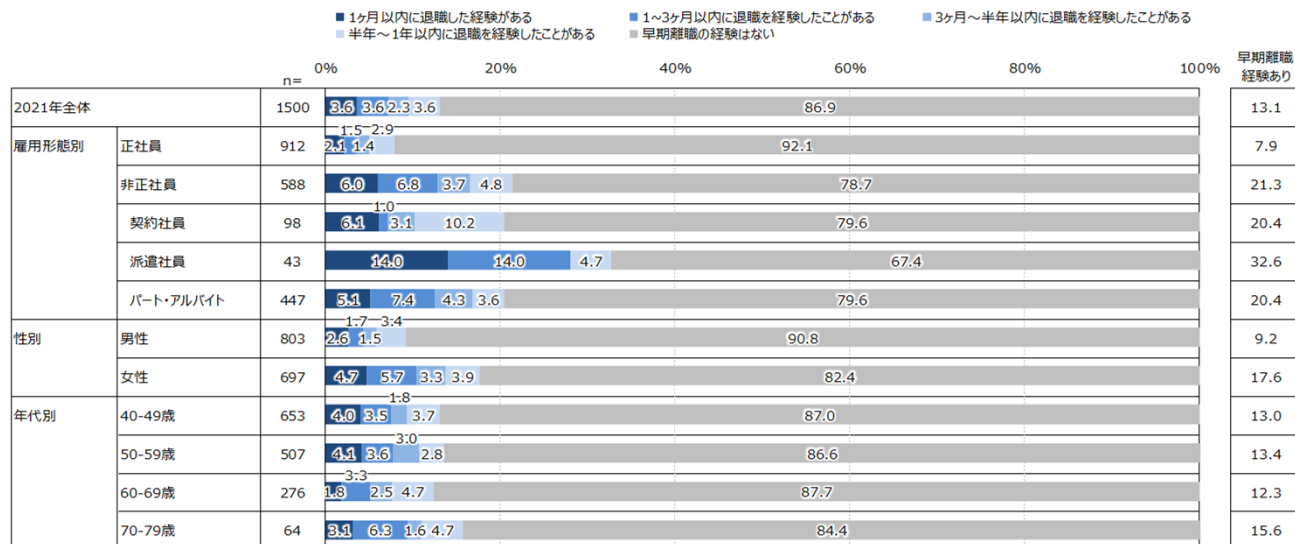
・【単一回答】全体では「指示が的確」が最も高く、次いで「責任感が強い」の順となっている。「いつでも相談できる雰囲気がある／親しみやすい」は正社員と非正社員の差が大きく、非正社員の方が高い。また非正社員では「責任感が強い」が全体に比べてやや低い。



(5) 早期離職の実態と意識

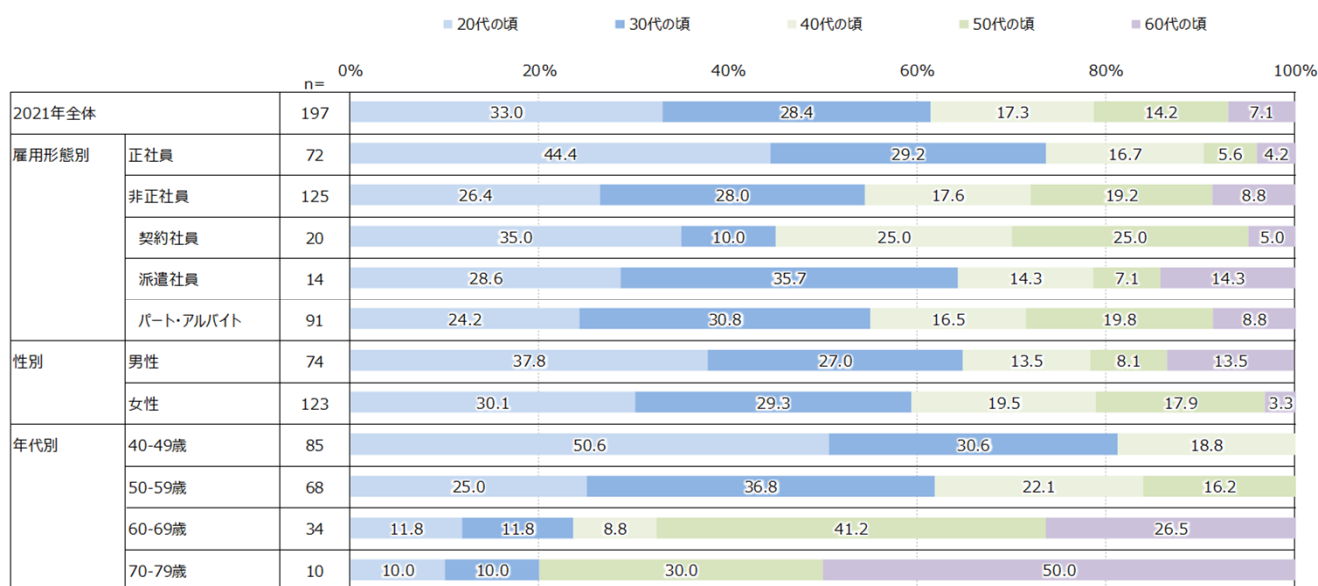
非正規雇用で働いた職場における早期退職経験（単一回答）

- ・早期離職経験ありと回答した層は全体の13.1%、正社員では7.9%、非正社員では21.3%である。
- ・非正社員の雇用形態別にみると早期離職経験層が最も高いのは派遣社員の32.6%、契約社員とパート・アルバイトはともに20.4%となっている。



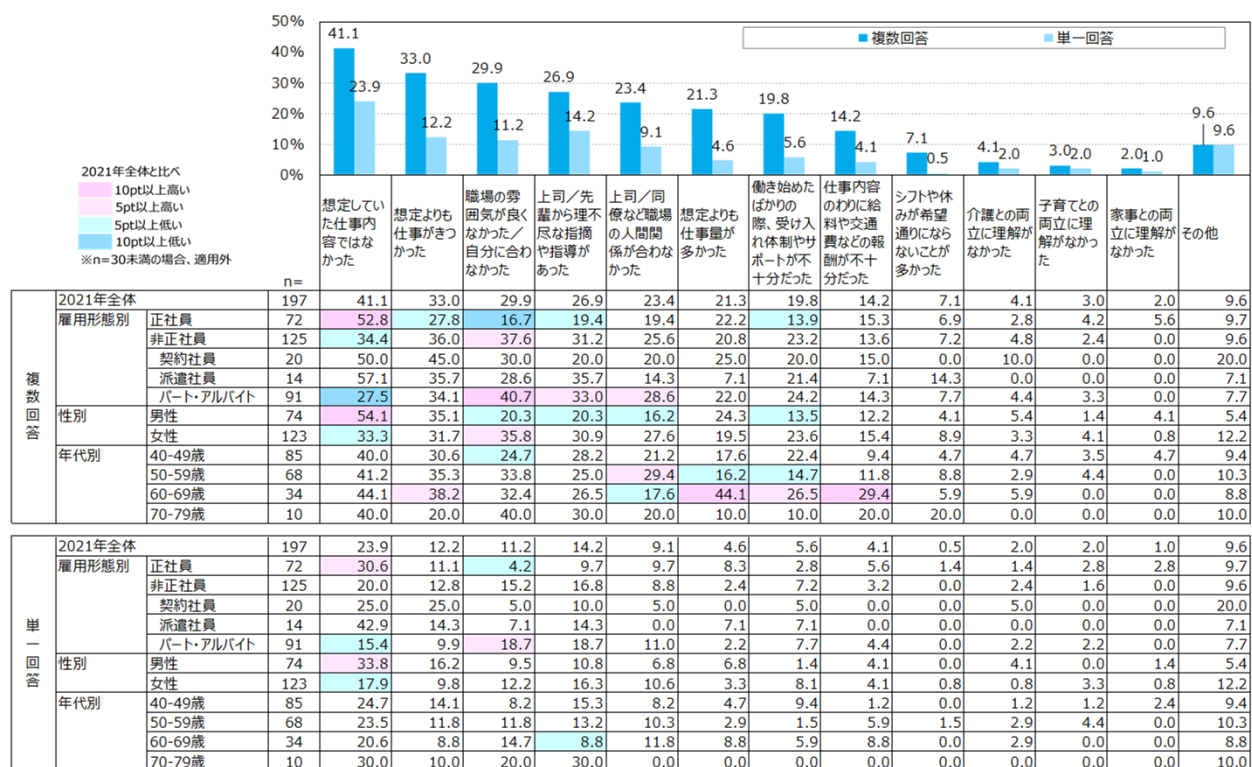
早期離職 時期（単一回答）

- ・早期離職経験ありと回答した層は全体の13.1%、正社員では7.9%、非正社員では21.3%である。
- ・非正社員の雇用形態別にみると早期離職経験層が最も高いのは派遣社員の32.6%、契約社員とパート・アルバイトはともに20.4%となっている。



早期離職 要因（複数回答/単一回答）

- ・【複数回答】全体では「想定していた仕事内容ではなかった」が最も高く、次いで「想定よりも仕事がつきつた」「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」の順となっている。正社員では「想定していた仕事内容ではなかった」が全体より高く、「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」が低い。非正社員では「職場の雰囲気が良くなかった／自分に合わなかった」がやや高く、「想定していた仕事内容ではなかった」がやや低い。
- ・【単一回答】全体では「想定していた仕事内容ではなかった」が最も高く、次いで「上司／先輩から理不尽な指摘や指導があった」の順である。



(6) 回収数について

正社員/非正社員別にエリア/性別/年齢の就労者人口構成比に合わせて回収数を以下のように設定した。

就労者人口構成比は平成29就業構造基本調査より算出している。

			40代	50代	60代	70代
正社員	北海道	男性	12	10	4	0
		女性	5	4	1	0
	東北	男性	21	18	6	1
		女性	10	8	2	1
	関東	男性	19	15	4	1
		女性	7	5	2	1
	京浜/一都三県	男性	104	75	18	3
		女性	38	24	7	3
	北陸	男性	18	15	4	1
		女性	9	7	2	1
	東海	男性	42	30	8	1
		女性	14	11	4	1
	京阪神	男性	50	38	10	1
		女性	19	14	4	1
	中国	男性	18	14	4	1
		女性	8	6	2	0
	四国	男性	9	7	2	0
		女性	4	4	1	0
	九州	男性	31	25	9	1
		女性	15	12	4	1

			40代	50代	60代	70代
非正社員	北海道	男性	1	1	3	1
		女性	7	7	5	1
	東北	男性	2	2	5	1
		女性	9	9	7	1
	関東	男性	2	2	5	1
		女性	10	9	7	1
	京浜/一都三県	男性	10	8	22	8
		女性	53	41	28	7
	北陸	男性	1	1	5	1
		女性	9	7	6	1
	東海	男性	3	3	10	3
		女性	23	18	13	3
	京阪神	男性	5	4	11	4
		女性	30	23	16	4
	中国	男性	1	1	4	1
		女性	9	7	6	1
	四国	男性	1	1	2	1
		女性	4	3	3	1
	九州	男性	3	3	8	2
		女性	17	15	12	2

(単位: %)

(参考) 就労者人口／構成比

■平成29年就業構造基本調査 就労者人口

			40代	50代	60代	70代
正規	北海道	男性	265,500	209,700	77,900	10,000
		女性	105,600	75,400	28,300	3,600
	東北	男性	440,300	386,100	132,400	14,200
		女性	211,500	173,100	51,800	10,800
	関東	男性	415,900	328,400	94,800	12,900
		女性	155,600	116,600	43,900	12,700
	京浜/一都三県	男性	2,206,800	1,586,100	385,100	63,800
		女性	811,200	509,000	139,600	56,200
	北陸	男性	392,200	311,300	94,000	14,400
		女性	197,200	155,300	51,500	17,200
	東海	男性	893,600	645,200	167,600	22,400
		女性	307,400	226,800	85,700	30,500
	京阪神	男性	1,079,700	806,700	212,000	32,000
		女性	410,500	300,800	79,300	26,600
	中国	男性	377,500	295,700	93,000	13,900
		女性	177,600	134,000	43,000	10,700
	四国	男性	185,400	143,300	49,100	7,500
		女性	95,800	76,500	25,800	5,400
	九州	男性	660,700	532,900	182,300	21,300
		女性	323,200	258,400	85,000	18,500
非正規	北海道	男性	24,500	22,500	68,100	20,400
		女性	153,000	139,300	102,600	19,500
	東北	男性	38,200	40,900	109,900	26,200
		女性	199,700	193,200	155,400	22,200
	関東	男性	38,500	34,700	106,600	29,900
		女性	221,000	185,300	140,900	29,800
	京浜/一都三県	男性	216,100	165,600	468,800	181,500
		女性	1,133,300	870,300	593,500	152,500
	北陸	男性	29,200	27,500	101,800	29,800
		女性	193,100	158,400	136,800	31,100
	東海	男性	69,000	58,600	206,500	74,100
		女性	484,000	377,300	282,600	69,100
	京阪神	男性	99,900	85,400	245,100	85,000
		女性	642,900	496,800	340,100	78,500
	中国	男性	28,300	24,900	91,000	27,700
		女性	189,300	148,400	129,800	30,600
	四国	男性	13,100	13,300	38,300	11,100
		女性	88,600	72,000	65,500	13,400
	九州	男性	60,000	55,400	167,600	37,300
		女性	357,700	314,200	256,700	49,500

■就労者人口構成比

			40代	50代	60代	70代
正規	北海道	男性	0.00827067	0.00653243	0.00242669	0.00031151
		女性	0.00328958	0.00234881	0.00088158	0.00011214
	東北	男性	0.01371591	0.01202751	0.00412443	0.00044235
		女性	0.0065885	0.00539229	0.00161364	0.00033643
	関東	男性	0.01295582	0.01023008	0.00295314	0.00040185
		女性	0.00484714	0.00363224	0.00136754	0.00039562
	京浜/一都三県	男性	0.06874467	0.04940906	0.01199636	0.00198745
		女性	0.02526993	0.01585601	0.00434872	0.0017507
	北陸	男性	0.01221754	0.0096974	0.00292822	0.00044858
		女性	0.00614303	0.0048378	0.00160429	0.0005358
	東海	男性	0.02783679	0.02009881	0.00522096	0.00069779
		女性	0.00957591	0.00706511	0.00266967	0.00095011
	京阪神	男性	0.03363405	0.02512975	0.00660407	0.00099684
		女性	0.0127876	0.00937031	0.0024703	0.00082862
	中国	男性	0.01175961	0.00921144	0.00289707	0.000433
		女性	0.00553247	0.00417427	0.00133951	0.00033332
	四国	男性	0.00577545	0.00446398	0.00152953	0.00023363
		女性	0.00298429	0.00238307	0.0008037	0.00016822
	九州	男性	0.02058166	0.01660052	0.00567888	0.00066352
		女性	0.0100681	0.00804949	0.00264786	0.0005763
非正規	北海道	男性	0.00076321	0.0007009	0.0021214	0.00063549
		女性	0.00476615	0.00433937	0.00319612	0.00060745
	東北	男性	0.00118998	0.00127409	0.00342353	0.00081616
		女性	0.00622091	0.00601843	0.00484091	0.00069156
	関東	男性	0.00119932	0.00108095	0.00332073	0.00093142
		女性	0.00688443	0.00577233	0.00438922	0.00092831
	京浜/一都三県	男性	0.00673179	0.00515865	0.01460372	0.00565396
		女性	0.03530376	0.02711097	0.01848829	0.00475057
	北陸	男性	0.00090962	0.00085666	0.0031712	0.00092831
		女性	0.00601531	0.00493436	0.0042615	0.00096881
	東海	男性	0.00214944	0.00182547	0.00643274	0.00230831
		女性	0.01507722	0.01175338	0.00880335	0.00215255
	京阪神	男性	0.00311201	0.00266032	0.00763518	0.00264786
		女性	0.02002716	0.01547596	0.01059455	0.00244538
	中国	男性	0.00088158	0.00077567	0.00283477	0.00086289
		女性	0.00589694	0.00462285	0.00404344	0.00095323
	四国	男性	0.00040808	0.00041431	0.00119309	0.00034578
		女性	0.00276	0.00224289	0.00204041	0.00041743
	九州	男性	0.00186908	0.00172578	0.00522096	0.00116194
		女性	0.0114282	0.00978774	0.00799654	0.00154199